

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年 普通科 特別進学α		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	三省堂 『精選 現代文 改訂版』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標		
4	1、小説二	「蠅」	4	1、「取者」や「宿場の空虚な場庭」に集まってきた人物描写を整理すると共に物語の結末がそれぞれの人物に与える意味について理解させる。2、「レキシントンの幽霊」の体験を「僕」がどのように受け止めたのかを読み取り、物語世界の奥深さを理解する。		
	2、小説二	「レキシントンの幽霊」	5			
5	1、評論三	「戦争の〈不可視性〉」	6	1、「戦争」との関わりにおいて人間と社会の質的な変遷が起こった点を読み取り、〈世界戦争〉と人間の条件を改めて問う必要がある点を理解する。2、近代的な市民社会を成り立たせている精神を「である」論理から「する」論理への重点の移動である点を理解する。		
	2、評論三	「「である」ことと「する」こと」	6			
6	1、小説三	「こころ」	12	1、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。また、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と間、近代人のエゴイズムについて考察する。		
7	1、進学・就職対策	自主教材	9			
8	1、進学・就職対策	自主教材	3	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職試験で良く出る四字熟語などの練習と書き取りを行う。		
	2、進学・就職対策	自主教材	3			
9	1、評論一	「ブーボー」と「マンマ」の記号論	6	1、「符号」と「記号」の違いを確認した上で、人間の「記号化」「意味づけ」という営みに人間の世界認識のあり方を見、その際の言葉の持つ機能について理解する。2、類義語の用例の分析を通じて意味の違い、使用法の違いを理解し、客観的・論理的な思考方法を学ぶ。		
	2、評論一	サワルとフレル	6			
10	2、小説一	「靴の話」	6	1、戦場における靴に関わる「私」の体験と見解についてまとめ、「事実」という言葉の持つ意味について理解させる。2、主題である、現代人にとって(あるいは人間にとって)「自由」とは何かという問題について読み取らせ、虚構の話が矛盾に満ちた人間の現実を浮かび上がらせることを理解する。		
	2、小説一	「鞆」	6			
11	1、評論二	「身体〈の〉疎外」	6	1、「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどういう時代なのかを理解させる。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。		
	2、入試対策	自主教材	6			
12	1、入試対策	自主教材	9	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。		
1	1、入試対策	自主教材	9			
2	1、入試対策	自主教材	9	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う		
	2、入試対策	自主教材	9			
3						

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年 普通科 特別進学β		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	三省堂 『精選 現代文 改訂版』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標		
4	1、小説二	「蠅」	4	1、「取者」や「宿場の空虚な場庭」に集まってきた人物描写を整理すると共に物語の結末がそれぞれの人物に与える意味について理解させる。2、「レキシントンの幽霊」の体験を「僕」がどのように受け止めたのかを読み取り、物語世界の奥深さを理解する。		
	2、小説二	「レキシントンの幽霊」	5			
5	1、評論三	「戦争の〈不可視性〉」	6	1、「戦争」との関わりにおいて人間と社会の質的な変遷が起こった点を読み取り、〈世界戦争〉と人間の条件を改めて問う必要がある点を理解する。2、近代的な市民社会を成り立たせている精神を「である」論理から「する」論理への重点の移動である点を理解する。		
	2、評論三	「「である」ことと「すること」	6			
6	1、小説三	「こころ」	12	1、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。また、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と間、近代人のエゴイズムについて考察する。		
7	1、進学・就職対策	自主教材	9	夏休みを目前に、入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。また、就職対策として、慣用句や頻出漢字の練習をする。		
8	1、進学・就職対策	自主教材	3	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職試験でよく出る四字熟語などの練習と書き取りを行う。		
9	1、評論一	「ブーボー」と「マンマ」の記号論	6	1、「符号」と「記号」の違いを確認した上で、人間の「記号化」「意味づけ」という営みに人間の世界認識のあり方を見、その際の言葉の持つ機能について理解する。2、類義語の用例の分析を通じて意味の違い、使用法の違いを理解し、客観的・論理的な思考方法を学ぶ。		
	2、評論一	サワルとフレル	6			
10	2、小説一	「靴の話」	6	1、戦場における靴に関わる「私」の体験と見解についてまとめ、「事実」という言葉の持つ意味について理解させる。2、主題である、現代人にとって(あるいは人間にとって)「自由」とは何かという問題について読み取らせ、虚構の話が矛盾に満ちた人間の現実を浮かび上がらせることを理解する。		
	2、小説一	「鞆」	6			
11	1、評論二	「身体〈の〉疎外」	6	1、「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどういう時代なのかを理解させる。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。		
	2、入試対策	自主教材	6			
12	1、入試対策	自主教材	9	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。		
1	1、入試対策	自主教材	9	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。		
		大学入試センター試験				
2	1、入試対策	自主教材	9	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う		
3						

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	本コースは、就職・進学と進路がさまざまであるのが特徴である。そこで、社会に出る時に必要である、漢字力・国語常識に加え、国語総合で学んだ読解・鑑賞・読書の方法の習得を目指し、ものの見方、考え方を深めることが目標である。				
学習内容の概要	三省堂「明解 現代文B」を授業の基本としつつも、漢字・国語常識については、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」を用い、読解力・表現力・国語常識を養う。				
学習方法	現代文の読解力を養うために、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語常識・漢字の力を養成するために、「国語必携パーフェクト演習」を用いて、書く力、読む力のスキルアップをする。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂「明解 現代文B 改訂版」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」 尚文出版「常用漢字クリア」 その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	文字と語句	基本熟語・難読語 (P24・P25)	4	頻出の漢字の読みに慣れるために、繰り返し漢字演習を行う。	
	随想一	葉桜の頃	5	過ぎゆく日々をいとおしみつつ、周囲の人々とのつながりを大切にすることを考えさせる。	
5	文字と語句	難読語・四字熟語 (P50・51)	6	漢字演習と共に、小テストを通じて、漢字の読解を徹底する。	中間考査
	随想一	蜜柑の受難	6	身近な題材を読み、「人間の心の共通なやさしさ」など人の心のありようを考える。	
6	文字と語句	特殊な漢字・反対語・同音異義語 (P76・77)	6	重要な漢字を書き取ることが出来るように、繰り返し演習を行う。	期末考査
	小説(一)	水かまきり	6	擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心を動きを理解する。	
7	文字と語句	表現問題 (P82～P89)	9	書き取りの演習と共に、小テストを行い学力を定着させる。	終業式
8	文字と語句	表現問題 (P90・91)	3	四字熟語や、同義語・対立語などを、内容を説明しながら演習する	始業式
9	評論一	想像する力	6	人間とは何かということを、チンパンジーと比較することで見いだせる、人間の特徴について考える。	
	文字と語句	表現問題 (P92～P97)	6	言葉の由来を確かめながら、演習を行い、定着を目標とする。	
10	随想二	前の駅出ました	6	日常生活での「視点の切り替え」の重要性について考えを深め、具体例の比較から主題を理解する。	中間考査
		進学・就職試験対策	6	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に漢字を復習する。	
11	評論二	ネット人格	6	ネットワーク・コミュニケーションでのトラブル事例を取り上げ、今後のコミュニケーションについて考える。	期末考査
		進学・就職試験対策	6	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に熟語を復習する。	
12	小説二	ころ	9	人と人との間に横たわる間と孤独、エゴイズムを鋭く見つめている点を理解する。	
1	小説二	ころ	9	「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて理解を深め、自分なりに主題に対する考えを深めていく。	
2		進学・就職対策 自主教材	9	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。	卒業考査
3					

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	本コースは、就職・進学と進路がさまざまであるのが特徴である。そこで、社会に出る時に必要である、漢字力・国語常識に加え、国語総合で学んだ読解・鑑賞・読書の方法の習得を目指し、ものの見方、考え方を深めることが目標である。				
学習内容の概要	三省堂「明解 現代文B」を授業の基本としつつも、漢字・国語常識については、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」を用い、読解力・表現力・国語常識を養う。				
学習方法	現代文の読解力を養うために、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語常識・漢字の力を養成するために、「国語必携パーフェクト演習」を用いて、書く力、読む力のスキルアップをする。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂「明解 現代文B 改訂版」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」 尚文出版「常用漢字クリア」 その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	文字と語句	基本熟語・難読語 (P24・P25)	4	類出の漢字の読みに慣れるために、繰り返し漢字演習を行う。	
	随想一	葉桜の頃	5	過ぎゆく日々をいとおしみつつ、周囲の人々とのつながりを大切にすることを考えさせる。	
5	文字と語句	難読語・四字熟語 (P50・51)	6	漢字演習と共に、小テストを通じて、漢字の読解を徹底する。	中間考査
	随想一	蜜柑の受難	6	身近な題材を読み、「人間の心の共通なやさしさ」など人の心のありようを考える。	
6	文字と語句	特殊な漢字・反対語・同音異義語 (P76・77)	6	重要な漢字を書き取ることが出来るように、繰り返し演習を行う。	期末考査
	小説(一)	水かまきり	6	擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心を動きを理解する。	
7	文字と語句	表現問題 (P82～P89)	9	書き取りの演習と共に、小テストを行い学力を定着させる。	終業式
8	文字と語句	表現問題 (P90・91)	3	四字熟語や、同義語・対立語などを、内容を説明しながら演習する	始業式
9	評論一	想像する力	6	人間とは何かということ、チンパンジーと比較することで見いだせる、人間の特徴について考える。	
	文字と語句	表現問題 (P92～P97)	6	言葉の由来を確かめながら、演習を行い、定着を目標とする。	
10	随想二	前の駅出ました	6	日常生活での「視点の切り替え」の重要性について考えを深め、具体例の比較から主題を理解する。	中間考査
		進学・就職試験対策	6	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に漢字を復習する。	
11	評論二	ネット人格	6	ネットワーク・コミュニケーションでのトラブル事例を取り上げ、今後のコミュニケーションについて考える。	期末考査
		進学・就職試験対策	6	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に熟語を復習する。	
12	小説二	こころ	9	人と人との間に横たわる間と孤独、エゴイズムを鋭く見つめている点を理解する。	
1	小説二	こころ	9	「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて理解を深め、自分なりに主題に対する考えを深めていく。	卒業考査
2		進学・就職対策 自主教材	9	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。	
3					

教科名	国語	科目名	古典A	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年 普通科 特別進学α・β（文系）		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。古文読解に必要な文法を理解し、古語の知識を身につけ、文章の読解を深めるとともに、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、古典に親しむ態度を養う。					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	東京書籍『古典A』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目			時間数	学 習 到 達 目 標	
4	1、古文	物語	伊勢物語 「狩りの使ひ」	4	1、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辞法に注意をしながら、和歌の奥行きのある表現方法を味わう。2、孟母が学問をどのようなものと考えているかについて捉え、漢文特有の論理について理解する。	
	2、漢文	故事と寓話	「孟母断機」	5		
5	1、古文	物語	伊勢物語 「小野の雪」	6	1、各章段の多様な愛の姿を読み取り、人々にとって和歌を詠むことが人生の中でいかに重要な行為であったかを考えることで、叙情的な美しさを読み味わう。2、莊周が夢の話をする中で何を伝えたかったかを理解する。また、寓話が意味するものを捉えられるようにする。	
	2、漢文	故事と寓話	「夢為胡蝶」「従漚鳥游」	6		
6	1、古文	物語	大和物語 「安積山」	6	1、歌物語としての『大和物語』について理解を深めると共に、恋愛の激しさやそれが招いた悲劇的な結末について読み味わう。2、直躬についての孔子と韓非子の評価の違いについて理解する。また、歴史家の使命について考え、この故事の意味することを読み取る。	
	2、漢文	故事と寓話	「直躬」「崔杼弑其君」	6		
7	1、古文	物語	とりかへばや物語	6	1、源氏物語の影響を受けつつ男性らしくない男君と女性らしくない女君がそれ故に巻き込まれる物語を理解できるようにする。2、和歌の修辞法の理解を深め、和歌をより深く鑑賞する力を養う。	
	2、和歌の修辞法			3		
8	1、古文	物語	源氏物語 文学史における『源氏物語』	3	1、『源氏物語』に入っていく前段階として、「家系と人間形成」「『源氏物語』の創作とその世界」などの視点から、作者と物語への関心を深める。また、王朝文学の最高峰とも言うべき作品世界への理解を深める。	
9	1、古文	物語	源氏物語 「なにがしの院」	6	1、平安期の文学の多様な流れを統合した、物語文学の最高峰とも言うべき作品を通して王朝文学の粋を味わう。なにがしの院における物の怪の出現と、夕顔の死および光源氏の狼狽について理解する。2、孔子と弟子とのやりとりにより、弟子の性質をよく見抜いた孔子の指導力と愛すべき直情の弟子のプロフィールを理解する。	
	2、漢文	孔子と子路	「子路請為弟子」	6		
10	1、古文	物語	源氏物語 「新春の六条院」	6	1、光源氏の栄華の頂点を描いた場面を読むことにより、六条院のありさまや明石の君母子に対する光源氏の情愛について理解する。2、最後まで師の教えを守り通した弟子の姿と、弟子の死を予言した師の人物理解の的確さについて理解する。	
	2、漢文	孔子と子路	「嗟乎、由死矣」	6		
11	1、古文	物語	源氏物語 「香の御五十日」	6	1、不義の子を抱かねばならず、またそれがかつての自身と藤壺との過ちを想起させ、人間の根底にある情念の醜さを思い知るといふ源氏の悲嘆や苦悩を読み取り、また出家した女三の宮に対する源氏の複雑な心の動きを捉える。2、高祖の人物像を正しく読み取り、項羽との違いについて理解させる。	
	2、漢文	漢の高祖と韓信・張良	「大丈夫当如此也」	6		
12	1、古文	歴史	大鏡 「時平の大臣」	4	1、『大鏡』の内容、構成・形式・成立時期、作者について理解する。紀伝体の語り方に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。また、時平、道真の官位・年齢・人柄を整理し、人物像をまとめる。2、覇上に到着した沛公の言動を指摘し、沛公の考えを読み取る。	
	2、漢文	漢の高祖と韓信・張良	「法三章耳」	5		
1	1、古文	歴史	大鏡 「東三条院と道長」	4	1、貴族の権力争いと、それをめぐる人々の心情について理解を深める。特に道長のまれに見る強運やその後権力の頂点に立ったことを理解させる。2、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。	
	2、入試対策	自主教材	大学入試センター試験	5		
2	1、入試対策	自主教材		9	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。	
3						

教科名	国語	科目名	古典B	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科 特別進学α		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	大修館書店 『精選古典B 改訂版』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標		
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」		3	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。		
	2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」		3			
5	1、古文 物語 大和物語 「をばすて」 《中間考査》		4	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。		
	2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」		4			
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」		4	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのすれ違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荊軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。		
	2、漢文 史伝 「荊軻」		4			
7	1、漢文 史伝 「荊軻」 《期末考査》		6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荊軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。		
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」		2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風に書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしながら、文脈に沿って読解ができるようにしていく。		
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」		4	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐宋八家文の一つとしての形について理解できるようにする。		
	2、漢文 文章 「師説」		4			
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」 《中間考査》		4	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」		4			
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」		4	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」 《期末考査》		4			
12	1、古文 評論 無名抄		3	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。		
	2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		3			
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		4	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題をを行う。		
	2、受験対策 自主教材		2			
2	1、受験対策 自主教材		6	1、入学試験を目前に、実戦問題をを行う。		
3						

教科名	国語	科目名	古典B	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科 特別進学β		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	大修館書店 『精選古典B 改訂版』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標		
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」		3	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。		
	2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」		3			
5	1、古文 物語 大和物語 「をばすて」	《中間考査》	4	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。		
	2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」		4			
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」		4	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのすれ違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荊軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。		
	2、漢文 史伝 「荊軻」		4			
7	1、漢文 史伝 「荊軻」	《期末考査》	6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荊軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。		
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」		2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風に書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしながら、文脈に沿って読解ができるようにしていく。		
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」		4	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐宋八家文の一つとしての形について理解できるようにする。		
	2、漢文 文章 「師説」		4			
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」	《中間考査》	4	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」		4			
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」	《期末考査》	4	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」		4			
12	1、古文 評論 無名抄		3	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。		
	2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		3			
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」	自主教材	4	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
	2、受験対策		2			
2	1、受験対策	自主教材	6	1、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
3						

教科名	国語	科目名	古典B	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科 進学コース		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	大修館書店 『精選古典B』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到達 目 標		
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」		3	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。		
	2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」		3			
5	1、古文 物語 大和物語 「をばすて」 《中間考査》		4	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。		
	2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」		4			
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」		4	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのすれ違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荊軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。		
	2、漢文 史伝 「荊軻」		4			
7	1、漢文 史伝 「荊軻」 《期末考査》		6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荊軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。		
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」		2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風に書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしながら、文脈に沿って読解ができるようにしていく。		
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」		4	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐家八家文の一つとしての形について理解できるようにする。		
	2、漢文 文章 「師説」		4			
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」 《中間考査》		4	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」		4			
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」		4	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」 《期末考査》		4			
12	1、古文 評論 無名抄		3	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。		
	2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		3			
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		4	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
	2、受験対策 自主教材		2			
2	1、受験対策 自主教材		6	1、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
3						

教科名	国語	科目名	国語研究	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科 総合選択コース		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	本コースは、就職・進学と進路がさまざまであるのが特徴である。そこで、社会に出る時に必要である、漢字力・国語常識に加え、就職・進学に対応するために記述力の向上を図る。また、読解・鑑賞・読書の方法の習得を目指し、ものの見方、考え方を深めることが目標である。					
学習内容の概要	三省堂「明解 現代文B」「古典A」を授業の基本としつつも、漢字・国語常識については、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」、記述力については「楽しく書ける作文・小論文」を用い、読解力・表現力・国語常識を養う。					
学習方法	国語力の向上のため、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語常識・漢字の力や記述力を養成するために、「国語必携パーフェクト演習」「楽しく書ける作文・小論文」を用いて、書く力、読む力のスキルアップをする。					
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	三省堂「明解 現代文B 改訂版」「古典A」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」桐原書店「楽しく書ける作文・小論文」 尚文出版「常用漢字クリア」 その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	随想一	春の小川の思い出	3	身近な出来事を取り上げた随想の中に表現されている心情やものの見方をとらえ、登場人物の心情を考える。		
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習1～演習3	3	漢字の読み・書き取りについて演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
5	宇治拾遺物語	応天門炎上	4	子供のけんかから真相が発覚するという劇的な場面構成と鮮明な人物造形を理解し、古文への興味を深める。	中間考査	
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習4～演習6	4	四字熟語や故事成語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
6	小説一	山椒魚	4	閉じ込められた山椒魚の、変化する思いを読み味わい、自分と他者との関わり方について考えを深める。	期末考査	
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習5～演習9	4	同音異義や熟語の構成について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
7	小説一	山椒魚	3	他者との関わりにおける「自分というもの」について考えと共に、豊かな含蓄にふれ、文学の奥深さを理解する。	終業式	
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習10～整理3	3	基本熟語や難読語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
8	パーフェクト演習 (発展編)	演習1～演習3	2	反対語や現代用語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。	始業式	
9	莊子	混沌	4	道家の思想である、無為自然について理解を深め、「混沌」がなぜ死んでしまったのかを理解する。		
	パーフェクト演習 (発展編)	演習4～演習6	4	文章読解について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
10	評論一	科学的というのはどういう方法か	4	科学と非科学との境界について、「再現性」との関係について考えと共に、再現性の確認について理解する。	中間考査	
	パーフェクト演習 (発展編)	演習7～9	4	難読語や同音異義語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
11	今昔物語集	姨母捨山	4	姥捨山の伝説について理解を深めると共に、当時の時代背景についても思いを馳せるようにする。	期末考査	
	パーフェクト演習 (発展編)	演習10～整理3	4	今までの語句や熟語について総整理を行い、繰り返し演習や小テストをおこない知識の定着を図る。		
12	小説二	山月記	6	漢文調の文章を味わうとともに、人物の言動から人物像を明らかにし、生き方や人間の運命について考えを深める。		
1	小説二	山月記	6	自らが変身してしまった理由・原因について理解を深め、人間存在への洞察を深め、自己を内省するきっかけとする。	卒業考査	
2		進学・就職対策 自主教材	6	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。		
3						

教科名	地理歴史		科目名	世界史研究	単位数	5 単位
対象学年	第 3 学年普通科特別進学コース α β 文系		履修形態	選択	授業形態	【講義・演習】
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
学習内容の概要	2 年次の学習内容を大学受験に沿う形で充実させる。 ○第Ⅲ部：第 9 章近世ヨーロッパ世界の展開～第 12 章：アジア諸地域の動揺　○第Ⅳ部：第 13 章帝国主義とアジアの民族運動～第 16 章現在の世界					
学習方法	○集中して授業に臨み、事前学習を習慣化して、真剣に問題演習に取り組む。その際、間違えた個所の徹底究明、完全理解を心掛ける。 ○定期考査は模試・入試に直結する土台。しっかりと学習を積んで受験する。					
評価の観点・評価方法	ベースとなる知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。					
使用教材	『改訂版詳説世界史 B』（山川出版社）					
その他	共通テスト対策用演習問題・共通テストおよび私大受験対応の問題集					
年間授業計画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	試験等	
4	第 9 章近世ヨーロッパ世界の展開	①重商主義と啓蒙専制主義	5	○重要ポイントの整理 ○問題演習	始業式	
		②ヨーロッパ諸国の海外進出	5			
		③17～18 世紀のヨーロッパの文化と社会	5			
5	第 10 章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	①産業革命	5	○重要ポイントの整理 ○問題演習	中間考査	
		②アメリカ独立革命	5			
		③フランス革命とナポレオン	5			
6	第 11 章欧米における近代国民国家の発展	①ウィーン体制の成立	5	○重要ポイントの整理 ○問題演習	期末考査	
		②ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	5			
			5			
7		③南北アメリカの発展	5	○重要ポイントの整理 ○問題演習	期末考査	
		④19 世紀欧米文化	5		終業式	
			5			
8		①オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの激動	5	○重要ポイントの整理 ○問題演習	始業式	
9	第 13 章帝国主義とアジアの民族運動	①帝国主義と列強の展開	5	○重要ポイントの整理 ○問題演習		
		②世界分割と列強対立	5			
		③アジア諸国の改革と民族運動	5			
10	第 14 章二つの世界大戦 第 15 章冷戦と第三世界の独立	①第一次世界大戦とロシア革命②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ③アジア・アフリカ地域の民族運動④世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ⑤第二次世界大戦①戦後世界の形成とアジア諸地域の独立②米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興③第三世界の台頭と米・ソの歩みより④石油危機と世界経済の再編	5 5 5 5	○重要ポイントの整理 ○問題演習	中間考査	
11	第 16 章 現在の世界	①社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ②途上国の民主化と独裁政権の動揺 ③地域紛争の激化と深刻化する貧困 ④現代文明の諸相	5 5 5 5	○重要ポイントの整理 ○問題演習		
12	共通テスト対策		5 5 5	○重要ポイントの整理 ○問題演習	期末考査	
					終業式	
1	共通テスト試験対策 私大・二次試験対策		5 5 5	○問題演習	始業式	
2	私大・二次試験対策		5 5 5 5	○問題演習		
3					卒業式	

教科名	地理歴史	科目名	世界史研究	単位数	5 単位
対象学年	第 3 学年普通科進学コース選択	履修形態	選択	授業形態	講義・演習
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を培う。				
学習内容の概要	世界史を系統的に整理する。問題演習を通して共通テスト・私大入試のベースをつくり、志望校の過去問に積極的に取り組む。				
学習方法	・講義に集中して取り組み、理解を深める。 ・共通テストおよび私大受験対応の問題集を使用して、問題演習を行う。 ・定期考査は模試・入試に直結する土台。しっかりと学習を積み、80 点以上をめざす。				
評価の観点・ 評価方法	基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	『世界の歴史 A』(山川出版社)・共通テストおよび私大受験対応問題集				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	序 人類の歴史の始まり	○東アジア世界 ○南アジア世界・東南アジア世界	5	重要ポイントの整理	始業式
	第 1 部 世界の一体化と日本		5	問題演習	
	第 1 章 世界の諸文明		5		
5		○西アジア世界 ○ヨーロッパ世界 ○アメリカ大陸 ○アフリカ大陸	5 5 5	重要ポイントの整理 問題演習	中間考査
6	第 2 章 世界の一体化の始まり	○16 世紀の世界と一体化の始まり ○明代の東アジア	5	重要ポイントの整理	期末考査
		○清代の東アジア ○サファヴィー朝とムガル帝国	5	問題演習	
		○オスマン帝国 ○大航海とアメリカ征服	5		
		○新しい時代の始まりとルネサンス ○宗教改革	5		
7	第 3 章 近代の世界	○スペインの時代からオランダの時代へ	5	重要ポイントの整理	終業式
		○絶対王政と議会王政 ○東ヨーロッパの専制 ○大西洋経済	5	問題演習	
		○啓蒙とアメリカ独立 ○フランス革命 ○ナポレオンとその帝国	5		
8		○イギリス産業革命 ○ウィーン体制と自由主義改革 ○1848 年革命とイギリス・フランス	5	重要ポイントの整理 問題演習	始業式
9		○クリミア戦争とオーストリア・ロシア ○イタリア統一とドイツの統一	5	重要ポイントの整理	
		○アメリカ合衆国の発展とカナダ ○ラテンアメリカと世界資本主義	5	問題演習	
		○19 世紀の西アジア ○南アジア・東南アジアの植民地化	5		
		○東アジアの開港と変動 ○東アジアの近代化の試み	5		
10	第 2 部 地球社会と日本 第 1 章 現代の始まりと帝国主義 第 2 章 二つの世界大戦	○資本主義社会の成熟 ○世界分割と一体化の進展	5	重要ポイントの整理	中間考査
		○帝国主義の国際対立 ○植民地・従属国での民衆の抵抗	5	問題演習	
		○日露戦争と韓国併合 ○辛亥革命	5		
		○第一次世界大戦 ○ロシア革命 ○ヴェルサイユ体制とワシントン体制	5		
11	第 3 章 平和と冷戦	○1920 年代のアメリカとヨーロッパ ○アジア諸地域の抵抗と独立	5	重要ポイントの整理	期末考査
		○東アジアの民族運動 ○世界恐慌 ○ファシズムの台頭	5	問題演習	
		○第二次世界大戦前夜の世界 ○満州事変と日中戦争 ○第二次世界大戦	5		
		○冷戦の開始 ○冷戦の激化と核戦争の危機 ○第三世界の出現	5		
12	第 4 章 現代世界と日本 共通テスト対策	○米・ソの動揺と多極化する世界 ○冷戦の終結	5	重要ポイントの整理	終業式
		○グローバル化とアメリカ ○EU の拡充とロシア、アフリカ	5	問題演習	
		○中東情勢とイスラーム主義運動 ○アジアの経済発展	5		
		○中国の台頭と多極化 ○地球社会の今後と私たち			
1	共通テスト対策 私大対策		5 5 5	問題演習	始業式
2	私大対策		5 5 5 5	問題演習	
3					卒業式

教科名	地理歴史科	科目名	日本史A	単位数	3単位
対象学年	総合選択コース 第3学年	履修形態	必修	授業形態	講義
a. 科目の目標					
我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、特色などを世界的視野を踏まえて、現在とのつながりに着目して多面的・多角的に考察する力や、歴史に見られる課題を把握しその解決に向けて課題を追究する力、またそれらを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養う。					
b. 学習内容の概要					
近代以降の我が国の歴史を概観し、現代の我が国への影響を把握するとともに、現代社会に存する課題の解決について考える。					
c. 学習方法					
講義形式を基本に展開しつつ、対話・発問を多く行い、論理的思考力を身につける。					
d. 評価方法					
定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。					
e. 使用教材					
①『新日本史A 新訂版』(実教出版)					
f. その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	近代国家と 社会の形成	東アジア世界の転換	3	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家機構の芽生えから幕府の滅亡を理解する。	始業式
		開国	3		遠足
		幕末の政治と社会	3		
5		「御一新」への期待と明治維新	3	明治新政府による制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。	中間考査
		明治政府の諸改革	3		
		自由民権運動のはじまり	3		
6	二つの戦争と 大日本帝国	自由民権期の社会	3	一連の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆の失敗と言論による要求、その結果としての立憲国家の性r津過程を考察する。	県総体
		大日本帝国憲法	3		
		文明開化	3		
		日清戦争	3		期末考査
7		東アジアの変革	3	日清日露戦争に至る経緯について理解し、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について国際情勢を踏まえて考察する。	スポーツ祭
		日露戦争から韓国併合へ	3		懇談
		産業化の進展と「日本国民」	3		終業式
8		都市と農村から社会問題へ	3	近代産業の発展に伴う市民生活の変化と社会問題の発生、それに対する政府の対応と社会運動の興隆について考察する。	始業式
9	帝国とデモクラシー	大正デモクラシーの広がり	3	第一次世界大戦前後の国内政治の動向及び市民文化の特色と、ワシントン体制に至る国際協調体制の進展と日本の地位を考察する。	
		第一次世界大戦	3		
		ヴェルサイユ条約とロシア革命	3		
		都市化と市民文化	3		
10	アジアの戦争と 第二次世界大戦	東アジアの情勢と恐慌	3	国内経済の動揺、対外政策の推移、軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立を理解し、第二次世界大戦開戦までの過程を考察する。	学校祭
		日中戦争の勃発	3		中間考査
		日中戦争下の社会	3		
		アジア太平洋戦争	3		
11	現代日本の源流	戦時下の社会と抵抗	3	戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策及びそれに伴う諸改革についてその経過と内容を考察する。	創立記念日
		大東亜共栄圏	3		
		戦後の世界と日本占領	3		
		国民主権と日本国憲法	3		
12		民主主義とアメリカ化	3	東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が集結し、日本が独立した意義を考察する。	期末考査
		朝鮮戦争	3		懇談
		サンフランシスコ体制	3		終業式
1		沖縄と平和運動の展開	3	独立後の日本国内政治について、55年体制の成立から安定した保守政権の確立までの経過を、国際社会の動向などを踏まえて考察する。	始業式
		戦後の社会と文化	3		
		55年体制と安保	3		入学試験
2	現代の日本	冷戦体制の終焉	3	戦後日本の政治・外交・経済・生活文化面を世界的視野から多面的・多角的にとらえる。	入学試験
		グローバリゼーションの時代	3		
		21世紀の世界と日本	3		期末考査
3		21世紀の世界と日本	3	現代の世界と日本の課題について検討し、国際社会における日本の役割について考察する。	卒業式
					研修旅行

教科名	地理歴史科	科目名	日本史研究	単位数	5単位
対象学年	普通科特別進学コース 第3学年	履修形態	選択	授業形態	講義・演習
a. 科目の目標	日本史の歴史の流れを、世界史的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展(2年次)、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として学習を進める。全体として、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にするとともに、問題解決的な「実践」性を養いたい。				
b. 学習内容の概要	①近世、②近代・現代の流れを理解する。※近世、近代・現代は2学期までに終了。大学入試共通テスト・私大受験・国公立大2次試験に対応するため、教科書終了後は総復習と問題演習に重点をおく。				
c. 学習方法	教科書、参考資料を活用し、講義スタイルで展開、演習による知識技能、思考判断力の定着を図る。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。				
e. 使用教材	①教科書「詳説日本史B」山川出版社 ②問題集「日本史B10分間テスト」山川出版社 ③担当者作成教材プリントなど				
f. その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	第3部 近世	織豊政権と「天下」統一	5	「大航海時代と宗教改革」を概観し、織豊政権との関連を考える。「天下」の内実を分析し、幕藩体制の基本的構造を組織・法令・外交など総合的に理解したい。	始業式
	第6章 幕藩体制の確立	江戸幕府の成立	2		
		幕藩体制の基本構造[組織]	4		
		幕藩体制の基本構造[法令]	4		
5		幕藩体制の基本構造[外交]	4	外交政策について、鎖国体制の完成まで年号形式でその内容を理解する。また、武断から文治政治へ。4代家綱～7代家継までの基本政策を把握する、など。	
	第7章 幕藩体制の展開	幕政の安定について	4		
		経済の発展	3		
		元禄文化とその思想	4		県総体
6	第8章 幕藩体制の動揺	享保の改革	5	享保の改革⇒田沼政治⇒寛政の改革⇒大御所政治⇒天保の改革について、それぞれの基本政策を理解する。百姓一揆についてはその前後との関連[土一揆と自由民権期の激化事件]で分析したい。	
		百姓一揆概観	3		
		田沼時代と寛政の改革	4		模擬試験
		大御所政治と天保の改革	4		
7		諸藩の藩政改革	3		
		化政文化[美術と文学]	4	化政文化について、美術・文学・国学・洋学・儒学と経世思想をそれぞれ概観し、その特徴を理解したい。さらに、国学については尊王思想との関連も考えたい。	期末考査
		化政文化[国学と洋学]	4		スポーツ祭
		化政文化[儒学と経世思想]	4		懇談会
第4部 近代・現代	生活と信仰	3	終業式		
8	第9章 近代国家の成立	列強の接近と開国	3	列強の接近に対する幕府の対応の中で下級武士が登場、政治運動の過程で尊王論と討幕論が結合する「流れ」を理解する。新撰組の歴史的位相にも注目する。	
		幕府の対応	2		
					始業式
9		明治政府の成立	6	明治政府による神道国教化政策と対抗思想の脆弱性、啓蒙思想から自由民権思想へ、民権運動の敗北から憲法制定・初期議会、日清戦争の勝利まで複雑な流れをわかりやすく理解したい。	
		啓蒙思想・士族反乱	3		
		自由民権運動とその思想	6		
		初期議会と条約改正	3		
		朝鮮問題と日清戦争	2		
10		日露戦争と明治内閣史	5	明治内閣史を日清・日露戦争と関連付け、理解したい。また、大正デモクラシーの背景となった吉野作造・美濃部達吉の思想について分析する。	
		近代産業の発展	5		中間考査
		明治の文化	5		学校祭
	第10章 近代日本と	大正デモクラシーと第一次大戦	5		
11	ア	ワシントン体制と協調外交	5	1920年代の協調外交と、30年代の強硬外交と軍部の台頭について、対中国・朝鮮政策と関連付けて理解したい。	創立記念日
	バ	護憲三派内閣の成立	5		
		軍部の台頭	5		
		第二次世界大戦と日本	5		
12	第11章 占領下の日本	戦後内閣史整理	15	アジア・太平洋戦争の中で、日中全面戦争から対米英戦になぜ突入したのか、順を追って理解したい。また、戦後史は現代社会的視点も大切にしたい。	期末考査
	第12章 高度成長の時代				懇談会
					終業式
1	センター試験直前対策		5	共通テスト対策・私大受験対策・国公立大2次試験対策。総復習を含め、政治史・経済史・文化史を中心に要点を整理する。	冬期講習
	私大受験対策		5		
	私大受験対策		5		センター試験
	国公立大2次試験対策		3		入学試験
2	国公立大2次試験対策		5	記述式への対応をめざす。おもに政治・経済史を中心に流れを理解し、かつ表現力も養う。	国立2次試験
	国公立大2次試験対策		5		
	国公立大2次試験対策		5		
	国公立大3次試験対策		3		
3	国公立大2次試験対策				卒業式
	国公立大2次試験対策				特別授業
					国立2次試験
					試験

教科名	地理歴史科	科目名	日本史研究	単位数	5単位
対象学年	進学コース 第3学年	履修形態	選択	授業形態	講義
a. 科目の目標	原始より近世までの我が国の歴史について政治・経済・社会・文化など多面的・多角的に考察、理解することで、第2学年で修得した近代・近現代史を取り扱う「日本史A」とあわせて我が国の歴史の流れを通史的に理解する。そして歴史的・社会的事象を時期や年代、推移から比較し、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して考察する力や、歴史に見られる課題を把握しその解決に向けて課題を追究する力やそれらを基に議論する力を養う。				
b. 学習内容の概要	原始から近世までの歴史の概要を把握するとともにそれが近代以降の歴史にもたらした影響を考察するとともに、我が国の歴史を通史的に理解する。				
c. 学習方法	講義形式を基本に展開しつつ、対話・発問を多く行い、論理的思考力を身につける。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。				
e. 使用教材	①授業者作成資料				
f. その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	導入	近代・近現代の復習	3	日本史Aの流れを確認する。	始業式
	原始・古代	旧石器時代とその文化	2	人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器から弥生文化の時代の社会を理解するとともに、考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。	遠足
	○日本のあけぼの	縄文時代とその文化	5		
		弥生時代の概観	5		
5				集落・墓の変容から富の蓄積と小国の形成過程を理解し、東アジア世界との交流を踏まえてヤマト政権による国家の形成過程について考察する。	中間考査 模擬試験
		邪馬台国論争	5		県総体
		古墳の時代区分	5		
		古墳とヤマト政権	5		
6		飛鳥の朝廷	5	政権内の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。律令国家が成立するまでの政治動向を東アジア世界との関係を踏まえて考察する。	模擬試験 期末考査
	○律令国家の形成	飛鳥文化	4		
		律令国家への道	6		
		白鳳文化	4		
7		律令体制の完成	3	律令体制の状況を土地政策も含めて多角的・多面的に考察する。天平文化における政治性と国際性などに着目して国家仏教の展開を理解する。	スポーツ祭 懇談 終業式
		奈良時代の政治	5		
		初期荘園の成立	4		
		天平文化	3		
8	○貴族政治と国風文化	平安初期の政治	5	東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。	模擬試験 始業式
9		弘仁・貞観文化	4	摂関政治の成立過程と政治運営について考察し、地方統治体制の崩れが公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした武士が成長していったことを理解する。	模擬試験
		藤原北家と摂関政治	6		
		国風文化	4		
		地方政治の展開と武士	6		
10	中世	院政の開始	5	土地支配形態を踏まえて、院政期を理解し、平氏政権の成立とその特性について考察する。鎌倉幕府が地方政権から全行的な武家政権へと成長する過程を理解する。	学校祭 中間考査
	○中世社会の成立	平氏の台頭と院政期の文化	5		
		鎌倉幕府の成立	5		
		武士の社会	5		模擬試験
11		蒙古襲来と幕府の衰退	5	承久の乱に伴う公武関係の変化、執権政治の確立に至る過程を考察し、蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。	創立記念日 模擬試験
		鎌倉文化	5		
		鎌倉幕府の滅亡と建武の新政	5		
		室町幕府の成立	5		
12		室町幕府の安定	6	室町幕府の成立と安定について、東アジアの動向とともに考察する。庶民が社会変革の原動力となったことから、幕府の動揺や下剋上の風潮を理解する。	期末考査 懇談 終業式
		幕府の推定と庶民の台頭	6		
		室町文化	3		
1	近世	戦国大名の登場	5	世界の動向を踏まえて織豊政権の統一事業と政権の特色を理解する。国際関係に着目して江戸時代の鎖国政策などについて理解を深め、近代・近現代への影響について考察する。	始業式 模擬試験 入学試験
		織豊政権	5		
		江戸時代の概観	5		
			3		
2	近代・近現代		5	2年次に修得した近代・近現代の知識と、ここまでに学習した古代から近世にかけての日本史を複合し、日本通史の理解を完成し、歴史観を養う。	入学試験
		近代・近現代への展望	5		
			5		
			3		期末考査
3					卒業式
					研修旅行

科名	地理歴史	科目名	地理B	単位数	4単位
対象学年	第3学年 特進αβ理系	履修形態	必修	授業形態	【講義】
科目の目標	「現代世界の地理的事象を系統地理的、地読的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示されている目標が本科目の目標である。				
学習内容の概要	「自然と生活」「世界の諸地域」を2年時で、「グローバル化する現代世界」「地球的な課題」を3年時に…と2年間に渡って学習する。				
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。				
評価の観点・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 具体的な評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。				
使用教材	帝国書院「新詳地理B」 センター試験地理対応 パワーアップ整理と演習 帝国書院「新詳高等地図」 帝国書院「地理統計」				
その他					
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第Ⅱ部世界の諸地域 ○州・大陸規模の地域の調査	○西アジア ○中央アジア	8 4 4	・厳しい自然環境の様子やイスラム教を通じた民族の交流について理解させる。また、石油に依存する経済の様子と問題点についても考察させる。	始業式
5		○ヨーロッパ ○東南アジア	8 4 4 4	・EUの歩みから人やものの交流を理解させる。また、EU諸国の農業と工業の課題などについても考察させる。 ・東南アジアの民族・文化や農業などの特色と地域的差異を考察させ、ASEANの組織についても考察させる。	中間考査
6	第Ⅲ部グローバル化する現代社会 ○近隣諸国の研究	○韓国	8 4 4 4	・朝鮮半島の自然や民族・文化について日本との比較を通して考察させる。	期末考査
7		○中国	8 4	・中国の人々の生活(農・工中心)や政治・経済体制について考察させる。	終業式
8		○ロシア	8 4	・広大な国土をもつロシアに居住する様々な民族の生活について理解させる。	始業式
9	○結びつきを強める現代世界の課題のとらえ方 ○地図でとらえる現代社会	○国家・交通・通信・時差 ○貿易 ○南北問題	8 4 4 4	・国家の形態について理解させ、国境をめぐる諸問題について考察させる。 ・世界の交通網の地域差や情報社会における現状と課題について考察させる。 ・貿易に関する基礎的知識を定着させる。 ・生活の格差を地図化することで南北問題を捉えさせる。	
10	○地域区分でとらえられる現代世界の課題 第Ⅳ部地球的な課題 ○人口・食料問題	○アフリカ ○ラテンアメリカ ○中南アフリカ ○デンマーク	8 4 4 4	・アフリカやラテンアメリカの地域区分の事例を通して、その地域の概況や抱えている課題を考察させる。 ・発展途上国の人口・食料問題の事例として中南アフリカを、先進国のその事例としてデンマークをあげ、その現状と課題を考察させる。	中間考査
11 12 1	○都市・居住問題 ○環境・エネルギー問題	○ラゴス メキシコシティ ○ロンドン ○日本 ○様々な環境・エネルギー問題	8 4 4 4 4	・発展途上国の都市問題の事例として、ラゴス・メキシコシティを、先進国のその事例としてロンドンをあげ、現状と対策を考察させる。 ・日本のそれについても現状と問題点を考察させる。 ・環境破壊の具体的事例をあげ、その解決策を考察させる。	期末考査

教科名	公民		科目名	政治・経済	単位数	2単位
対象学年	第3学年普通科進学コース		履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸問題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	○現代の経済　○現代の政治　○現代社会の諸課題					
学習方法	教科書・整理ノートの活用をベースに、土台となる基礎的知識を学び、人間の社会生活を取り巻く様々な事象についての理解力を養う。新聞・ニュースなどを通して時事的問題への関心を高め、自ら問題意識を持って進んで取り組むことのできる学習活動を展開する。					
評価の観点・評価方法	人間の社会生活そのものに関わってくる政治経済の分野への関心と、現代社会の諸問題を見つめ、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢に着目したい。定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。					
使用教材	数研出版「改訂版　政治・経済」					
その他						
年間授業計画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント		主な学校行事
4	経済活動の意義と経済体制	①人間と経済活動 ②資本主義経済の発展と変容 ③経済活動の主体	6	・経済活動とは何かを理解する。 ・資本主義経済の基本的特徴と発展過程を学び、現代資本主義の特質を理解する。		始業式
5	現代経済のしくみ	①市場経済のしくみ ②物価の動向 ③国民所得と経済成長	6	・市場経済のしくみを理解する。		中間考査
6		④財政のしくみと租税 ⑤金融のしくみと働き	8	・現代の福祉国家の観点から、財政の役割を考え、現実の財政の歳入・歳出がどうなっているのかを考察する。金融のしくみを学び、日本銀行の金融政策を通じた景気調整、金融の自由化について理解する。		期末考査
7	日本経済と福祉の向上	①戦後日本経済の歩み ②中小企業と農業・食料 ③公害防止と環境保全	6	・戦後の日本経済の変化の要因や影響、対策について理解する。 ・公害の発生原因について考察するとともに、環境保全に対する意識を高める。		終業式
8		④消費者問題と消費者保護	2	・消費者保護に対する消費者、企業、行政の責任と役割について明らかにし、消費者としての自覚を高める。		始業式
9	国民経済の動向	⑤労使関係と労働市場 ⑥少子高齢化と社会保障 ①貿易と国際収支 ②国際経済のしくみ	8	・「人間の生存」という観点から労働問題を考察し、労働三法について理解する。 ・社会保障制度の歴史、主な国と日本の現状を学び、今後の課題を考察する。 ・国際経済について理解し、自由貿易が果たした役割を考察する。 ・地域的経済統合の現状と今後の見通しについて考察する。		
10	国際経済の課題と国際協力 民主政治の基本原則	①地球環境と資源エネルギー問題 ②発展途上国の経済と経済協力 民主政治の基本原則 ③国際経済における日本 ①政治と法②民主政治のあゆみ ③民主政治の基本原則とその展開 ④政治体制の比較	8	・資源・エネルギー問題に対して、どのような対策があるのかを考察する。 ・地球規模の環境問題の対策として何が必要なのかを考察する。 ・南北問題の原因について考え、その解決に向けてどのような取り組みがなされてきているのかを考察する。 ・日本経済の発展と国際化の進展について、両者を関連させながら理解する。 ・今後、世界経済の中で日本の果たすべき役割について考察する。 ※「政治」分野については、一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。		中間考査
11	日本国憲法と基本的人権 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	①日本国憲法の基本的性格②基本的人権の保障 ③日本国憲法の平和主義 ①国会のしくみと役割 ②内閣と行政機構③裁判所のしくみと人権保障 ④地方自治のしくみと住民生活 ①戦後政治と政党②選挙制度の仕組み ③世論と情報化社会	8	※「政治」分野については、一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。		期末考査
12	国際政治の動向 国民社会と日本の役割	①国際社会の特質②国際社会と国際法 ③国際社会の組織化 ①核兵器の廃絶と軍縮問題 ②地域紛争と人種・民族問題 ③日本の国際的地位と役割	6	※「政治」分野については、一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。		終業式
1	現代社会の諸課題 私大入試対策	総まとめ	6	※いくつかの項目を選択して、意見交換をすることによって、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢を養う。 ・問題演習		始業式 卒業考査
2	私大入試対策		8	・問題演習		
3						卒業式

教科名	公民科	科目名	公民研究Ⅰ	授業時間数	4単位
対象学年	普通科特別進学コースα(文系) 第3学年	履修形態	必修	授業形態	【講義】
a. 科目の目標	現代社会の諸問題を主体的に考察・公正に判断する力、人としての生き方・在り方について考察する力を養う。				
b. 学習内容の概要	1部「わたしたちの生きる社会」2部「現代の社会と人間」3部「ともに生きる社会をめざして」				
c. 学習方法	教科書・ipadを用いて現代社会の応用演習を行う。				
d. 評価方法	定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況				
e. 使用教材	教科書 東京書籍「現代社会313」				
f. その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	第2章			○中学校での学習確認とまとめ	
	「日本国憲法と	①民主政治の成立	4	○年間予定の説明と確認	
	民主政治」	②基本的人権の確立	4	○学習ノートの活用と確認	
	1 民主政治とは	③世界の政治体制	4	○民主政治の流れと基本的な考え方を理解	
				○重要語句のまとめ	
5		①日本国憲法と三つの原理	4	○明治憲法との比較から日本国憲法を整理してい	
	2 日本国憲法の	②③基本的人権の保障(1)(2)	4		
	基本原理	④新しい人権と人権保障の進展	4	○日本の安全保障の流れを確認し、整理していく。	
		⑤平和主義と安全保障	4		
6		①国会と立法 ②内閣と行政	4	○国会の構成と現状についてまとめていく。	
	3 日本の政治機構	③裁判所と司法 ④地方自治	4	○行政機構のしくみと仕事を整理していく。	
			4	○裁判制度についての理解(資料参考)	
	4 現代政治の	①選挙のしくみと課題	4	○地方と国政の関わりをまとめる。	
	特質と課題	②政党と利益集団	4	○選挙の4原則・政党の意義を押さえておく。	
		③世論と政治参加	4	○重要語句のまとめ	
7	第3章	①法の支配と人権	4	○私たちの暮らしが法に支えられていることを意識	
	「個人の尊重と	②市民生活と法	4	させる。	
	法の支配」	③司法と人権	4	○重要語句のまとめ	
		④他者とともに生きる	4	○1学期のまとめ	
8	第4章	①経済社会の変容	4	○資本主義経済の成立・流れをまとめる。	
	「現代の経済と	②現代の企業	4		
	国民福祉」				
	1 経済のしくみ				
9		③市場経済のしくみ	4	○需給曲線を参考とし価格の役割を考える。	
		④国民所得～⑤金融のしくみ～	4	○経済成長・景気変動についてまとめる。	
		⑥中央銀行の役割と金融自由化	4	○資料を用い、金融の役割を学んでいく。	
		⑦政府の役割と財政	4	○財政の仕組み・役割を考えていく。	
10	2 変化する日本経済	①戦後復興と～②産業構造の～	4	○戦後の日本経済の流れをまとめていく。	
		③経済のバブル～④日本経済～	4	○高度経済成長・バブル経済等の確認。	
		⑤中小企業と農業	4	○雇用・賃金格差についてもまとめていく。	
	3 豊かな生活の実現		4	○重要語句のまとめ	
11	第5章	①貿易と国際分業	4	○世界経済と日本経済の関わりについて貿易・為	
	「国際社会と	②外国為替のしくみと国際収支	4	替等の指標や資料を参考とし、経済のグローバル	
	人類の課題」	③戦後国際経済の枠組みと～	4	化を考えていく。	
	1 国際経済のしくみ～	④対立と協調～⑤グローバル化～	4	○重要語句のまとめ	
12	共通テスト対策演習	共通テスト対策演習を行う。	4	○共通テストに向けた総復習を行う。	
1	共通テスト対策演習	共通テスト対策演習を行う。	4	○共通テストに向けた総復習を行う。	
			4		
			4		
			4	○重要語句のまとめ	
2					
3					

教科名	公民科	科目名	公民研究Ⅱ	単位数	2単位	
対象学年	進学コース 第3学年	履修形態	必修	授業形態	【講義】 【演習】	
a. 科目の目標	現代社会における諸問題を主体的に考察、公正に判断する力、自分の考えを示すことのできる力を養う。					
b. 学習内容の概要	政治経済の政治分野を復習し、整理した上で、演習問題や新聞記事を用いて、思考力・読解力・記述力を高める。					
c. 学習方法	教科書、参考資料を活用、分野によってはプリントを用いて学習する。					
d. 評価方法	定期考査・ノート・プリントなどの各課題提出、小テスト、授業態度など					
e. 使用教材	教科書「政治・経済」（数研出版） ・ 教科書準拠ワーク「政治・経済 整理ノート」（数研出版）					
年間授業計画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項	
4	第1編 現代の政治	1. 政治と法	2	一年時の現代社会の政治分野を振り返りながら、民主政治成立の流れを押さえ、諸外国と日本との政治体制の比較を行う。	始業式	
	第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	2. 民主政治のあゆみ	2			
	第1節 民主政治の基本原則	3. 民主政治の基本原則とその展開	2			
		4. 政治体制の比較				
5	第2節 日本国憲法と基本的人権	1. 日本国憲法の基本的性格	2	大日本帝国憲法との比較を行い、歴史的背景を踏まえた上で、日本国憲法の内容を検討する。	中間考査	
		2. 基本的人権の保障	2			
		3. 日本国憲法の平和主義	2			
					2	県総体
6	第3節 日本の政治機構	1. 国会のしくみと役割	2	日本における三権分立の機構を整理し、各々の役割や関係性を理解する。国民や住民の政治の関わりかたにも着目する。	期末考査	
		2. 内閣と行政機構	2			
		3. 裁判所のしくみと人権保障	2			
		4. 地方自治のしくみと住民生活	2			
7	第4節 政治参加と民主政治の課題	1. 戦後政治と政党	2	歴史的背景に触れながら、戦後の日本における政党政治の流れを整理する。国民の選挙や世論によって政治に与える影響を考える。	期末考査	
		2. 選挙制度のしくみ	2		スポーツ祭	
		3. 世論と情報化社会	2		懇談会	
						終業式・夏季休業
8	1学期の振り返り		2	1学期の学習範囲を振り返った上で問題演習や時事問題に触れる。	夏季休業・始業式	
9	第2章 現代の国際政治	1. 国際社会の特質	2	歴史的背景を踏まえた上で、国際社会の現状を検討し、国連などの国際組織の役割を理解する。	学校祭	
	第1節 国際政治の動向	2. 国際社会と国際法	2			
		3. 国際社会の組織化	2			
		4. 戦後国際政治の展開	2			
10	第2節 国際社会の課題と日本の役割	1. 核兵器の廃絶と軍縮問題	2	国際情勢を踏まえた上で、日本における立場を理解し、諸問題へどのように取り組むべきかを検討する。	中間考査	
		2. 地域紛争と人権・民族問題	2		スポーツ祭	
		3. 日本の国際的地位と役割	2			
					2	
11	第3編 現代社会の諸課題	1. 少子高齢社会と社会保障	2	これまでの学習範囲を踏まえて、現在の日本が抱える諸問題についてどのように取り組むべきかを考える。	創立記念日	
	第1節 現代日本の諸課題	2. 地域社会の変貌と住民生活	2			
		3. 雇用と労働をめぐる問題	2			
		4. 産業構造の変化と中小企業	2			
12	2学期の振り返り	5. 農業と食料問題	2	これまでの学習範囲を踏まえて、国際社会全体が抱える諸問題について検討する。	期末考査	
	第2節 国際社会の諸課題	6. 大規模自然災害とエネルギー問題				
		1. 地球環境と資源・エネルギー問題	2		期末考査	
		2. 国際経済格差の是正と国際協力	2		懇談会・終業式	
1	1年の振り返り	3. 人種・民族問題と地域紛争	2	1年間の学習範囲を踏まえ、問題演習や時事問題に触れ、自分の意見を述べることに挑戦する。	冬季休業	
		4. 国際社会における日本の立場と役割	2		冬季休業・始業式	
					2	
					2	卒業考査
2						
3					卒業式	

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	単位数	5単位
対象学年	第3学年 特別進学コースα（理系） 特別進学コースβ（理系）	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	複素数平面、式と曲線について学習する。極限、連続関数の概念をつかみ、無限級数の収束・発散について学習する（極限）。さまざまな初等関数の微積分を扱い、高階導関数とグラフ、部分積分や置換積分を学ぶ（微分・積分）。基本事項を早めに習得し、高校数学全般の演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 詳説数学Ⅲ改訂版（啓林館） 問題集 マスグレード改訂版数学Ⅲ（啓林館）				
その他	特進αは平日の課外学習（80分）で、授業より発展した内容の演習、土曜講習（90分）で同様の演習を行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	複素数平面	複素数平面 数列の極限	5 5 5	複素数平面、極形式と乗法除法 ド・モアブルの定理 複素数と図形	始業式 入学式
5	式と曲線	2次曲線 関数の極限	5 5 5	放物線、楕円、双曲線 平行移動、2次曲線と直線 2次曲線の性質	
6	関数	媒介変数表示と極座標 関数	5 5 5	曲線の媒介変数表示 極座標と方程式、いろいろな曲線 分数関数、無理関数	期末考査
7	極限	数列の極限	5 5 5	逆関数と合成関数 数列の極限、無限等比級数 無限級数	終業式 夏期講習
8	微分法	関数の極限 微分法	5 5 5	関数の極限、三角関数と極限 関数の連続性 微分係数と導関数、導関数の計算	始業式
9	微分法の応用	導関数の応用	5 5 5 5	いろいろな関数の導関数 接線と法線、平均値の定理 関数の変化、最大最小、グラフ	
10			5 5 5 5	方程式不等式への応用	中間考査
11	積分法 積分法の応用	速度と近似式 不定積分 定積分 面積	5 5 5 5 5	速度と加速度、近似式 不定積分、置換積分、部分積分 定積分、置換、部分 面積、体積	期末考査
12			5 5 5 5	曲線の長さ、速度と道のり 共通テスト対策演習 共通テスト対策演習	終業式
1			5 5 5 5	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			5 5 5 5	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3					終業式



教科名	数学	科目名	数学活用	単位数	2単位
対象学年	第3学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	進学や就職など多岐にわたる進路希望に対応し、社会生活を送る上で必要となる数学的思考方と基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				
学習内容の概要	1年生のときに学習した数学Ⅰ、数学Aの復習を中心に、様々な問題を通して数学Ⅰ、数学Aの知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。また、就職試験などに出題される問題演習で実践的な力を身に付ける。				
学習方法	教科書の説明を通じて基礎的な知識を習得し、練習問題を解くことにより内容理解と習熟の徹底を図る。また、基礎的な問題から、就職試験レベルのくせのある問題まで様々な問題を自らが解答することにより知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 数学活用(啓林館)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学Ⅱ分野	世界は数学でできている 不思議な計算マシン 数と計算の進化 地球を測る[1]	2 2 2 2	数学Ⅱ分野の復習	始業式 入学式
5	数学Ⅰ分野 数学A分野	2進法の仕組み もっと自由に考える[1] もっと自由に考える[2]	2 2 2	数学Ⅰ分野の復習 数学A分野の復習	
6	数学Ⅰ分野	塩の稜線 パソコンで学ぶ幾何学 新しい幾何学 美術館の順路を考える	2 2 2 2	数学Ⅰ分野の復習	期末考査
7	数学A分野	優勝チームの決め方 世界のゲーム・パズル 河渡りの問題	2 2 2	数学A分野の復習	終業式 夏期講習
8		数学パズルにチャレンジ！ 新聞に現れる数値	2 2		始業式
9		どうやって議席が決まるのか 表計算ソフトウェアを使ってみよう 分布を比較する 数学者という人々	2 2 2 2		
10	数学Ⅱ分野	数学者を悩ませた問題 無限とパラドックス 芸術と数学 音楽と数学	2 2 2 2	数学Ⅱ分野の復習	中間考査
11		敷き詰めの問題 あなたの誕生日は何曜日？ 地球を測る[2] 正多面体を作る	2 2 2 2		期末考査
12		数値シミュレーション 数式処理システムを使ってみよう 曲線を探す	2 2 2		終業式
1		カーナビの秘密 バーコードの秘密 素数ゼミと暗号	2 2 2		始業式
2	数学Ⅰ分野	パソコンで探る整数問題 ハノイの塔を解く データを予測する 日本人と数学	2 2 2 2	数学Ⅰ分野の復習	期末考査
3					終業式

教科名	数学	科目名	数学活用	単位数	2単位
対象学年	第3学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	進学や就職など多岐にわたる進路希望に対応し、社会生活を送る上で必要となる数学的思考方と基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				
学習内容の概要	1年生のときに学習した数学Ⅰ、数学Aの復習を中心に、様々な問題を通して数学Ⅰ、数学Aの知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。また、就職試験などに出題される問題演習で実践的な力を身に付ける。				
学習方法	教科書の説明を通じて基礎的な知識を習得し、練習問題を解くことにより内容理解と習熟の徹底を図る。また、基礎的な問題から、就職試験レベルのくせのある問題まで様々な問題を自らが解答することにより知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 数学活用(啓林館) 問題集 高校生の基礎数学トレーニング				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学Ⅱ分野	世界は数学でできている 不思議な計算マシン 数と計算の進化 地球を測る[1] 2進法の仕組み	2 2 2 2 2	数学Ⅱ分野の復習	始業式 入学式
5	数学Ⅰ分野 数学A分野	もっと自由に考える[1] もっと自由に考える[2]	2 2	数学Ⅰ分野の復習 数学A分野の復習	
6	数学Ⅰ分野	塩の稜線 パソコンで学ぶ幾何学 新しい幾何学 美術館の順路を考える	2 2 2 2	数学Ⅰ分野の復習	期末考査
7	数学A分野	優勝チームの決め方 世界のゲーム・パズル 河渡りの問題	2 2 2	数学A分野の復習	終業式 夏期講習
8		数学パズルにチャレンジ! 新聞に現れる数値	2 2		始業式
9		どうやって議席が決まるのか 表計算ソフトウェアを使ってみよう 分布を比較する 数学者という人々	2 2 2 2		
10	数学Ⅱ分野	数学者を悩ませた問題 無限とパラドックス 芸術と数学 音楽と数学	2 2 2 2	数学Ⅱ分野の復習	中間考査
11		敷き詰めの問題 あなたの誕生日は何曜日? 地球を測る[2] 正多面体を作る	2 2 2 2		期末考査
12		数値シミュレーション 数式処理システムを使ってみよう 曲線を探す	2 2 2		終業式
1		カーナビの秘密 バーコードの秘密 素数ゼミと暗号	2 2 2		始業式
2	数学Ⅰ分野	パソコンで探る整数問題 ハノイの塔を解く データを予測する 日本人と数学	2 2 2 2	数学Ⅰ分野の復習	期末考査
3					終業式

教科名	数学	科目名	数学研究Ⅰ	単位数	5単位
対象学年	第3学年 特別進学コースαβ文系 特別進学コースαβ理系選択	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。 出席点は減点法による。				
使用教材	自主教材				
その他	特進αは平日の課外学習(80分)で、授業より発展した内容の演習、土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学ⅠA演習	数学ⅠA演習	5 5 5	数と式、集合と命題 2次関数、図形と計量 データと分析、場合の数と確率	始業式 入学式
5	数学ⅡB演習	数学ⅡB演習	5 5 5	図形の性質、整数の性質 式と証明・高次方程式 高次方程式	
6			5 5 5 5	図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分と積分	期末考査
7			5 5 5	数列 平面上のベクトル 空間座標とベクトル	終業式 夏期講習
8	大学入試共通テスト対策	大学入試共通テスト対策	5	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅠA全範囲)	始業式
9			5 5 5 5		
10			5 5 5 5	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅡB全範囲)	中間考査
11			5 5 5 5	大学入試共通テスト 応用演習(ⅠA全範囲)	期末考査
12			5 5 5	大学入試共通テスト 応用演習(ⅡB全範囲)	終業式
1	個別試験対策演習		5 5 5	個別試験対策演習	始業式
2			5 5 5 5		期末考査
3					終業式

教科名	数学	科目名	数学研究Ⅱ		単位数	2単位
対象学年	第3学年 特別進学コースα(理系)	履修形態	必修		授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。					
学習内容の概要	演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。					
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。 出席点は減点法による。					
使用教材	自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事	
4	数学ⅠA演習	数学ⅠA演習	2	数と式、集合と命題	始業式 入学式	
			2	2次関数		
			2	図形と計量		
			2	データと分析、場合の数と確率		
5	数学ⅡB演習	数学ⅡB演習	2	図形の性質、整数の性質		
			2	式と証明・高次方程式		
			2	高次方程式		
			2	図形と方程式		
6			2	三角関数	期末考査	
			2	指数関数・対数関数		
			2	微分と積分		
			2	数列		
7			2	平面上のベクトル	終業式 夏期講習	
			2	空間座標とベクトル		
			2			
			2			
8	大学入試共通テスト対策	大学入試共通テスト対策	2	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅠA全範囲)	始業式	
			2			
			2			
			2			
9			2			
			2			
			2			
			2			
10			2	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅡB全範囲)	中間考査	
			2			
			2			
			2			
11			2	大学入試共通テスト 応用演習(ⅠA全範囲)	期末考査	
			2			
			2			
			2			
12			2	大学入試共通テスト 応用演習(ⅡB全範囲)	終業式	
			2			
			2			
			2			
1	個別試験対策演習		2 2 2	個別試験対策演習	始業式	
2			2		期末考査	
			2			
			2			
			2			
3					終業式	

教科名	数学	科目名	数学研究Ⅲ	単位数	3単位
対象学年	第3学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学ⅠA分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。 出席点は減点法による。				
使用教材	自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学ⅠA演習	数学ⅠA演習	3 3 3	数と式 集合と命題 2次関数	始業式 入学式
5			3 3 3	図形と計量	
6			3 3 3	データと分析 場合の数と確率	期末考査
7			3 3 3	図形の性質 整数の性質	終業式 夏期講習
8	数学ⅠA共通テスト対策 演習	共通テスト対策演習	3	数と式	始業式
9			3 3 3	集合と命題 2次関数	
10			3 3 3	図形と計量 データと分析 場合の数と確率	中間考査
11		数学ⅠA共通テスト対策 演習	3 3 3 3	図形の性質 整数の性質 共通テスト対策演習(ⅠA全範囲)	期末考査
12			3 3 3		終業式
1		個別試験対策演習(ⅠA全範囲)	3 3 3	個別試験対策演習	始業式
2			3 3 3		期末考査
3			3 3 3		終業式

教科名	理科	科目名	物理	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 普通科特別進学コース理系選択	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。				
学習内容の概要	自然界における現象を基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用し、演習問題を通して教科書の内容を理解させる。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い評価する。				
使用教材	教科書、第一学習社 物理 問題集、第一学習社 改訂スタディノート物理・大学入学共通テスト攻略問題集ピーライン物理				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出や問題演習を行なう				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第Ⅲ章 電気と磁気	第1節 電場と電位 ①電場 ②電位 ③コンデンサー	60	電荷にはたらく遠隔力から電界の存在を理解し、電界の する仕事と位置エネルギーの関係から電位及び電位差を 理解させる。コンデンサーの原理と働きを理解させる。導 体を移動する自由電子から電流について理解させる。電 気抵抗と回路を流れる電流の関係を理解する。電流の向 きと大きさについてしっかりと理解させる。電流や電圧の 意味を確認しながらキルヒホッフの法則をきちんと理解さ せる。半導体について、電流が流れる仕組みや特徴を理 解させる。 磁場の定義を確認し、直線電流、円電流、ソレノイドの内 部それぞれがつくる磁場について理解させる。電流が磁 場から受ける力を考察し、運動する荷電粒子が磁場から 受ける力(ローレンツ力)について理解させる。 ファラデーの電磁誘導の法則を理解させるとともに、交流 の発生の仕組み、自己誘導と相互誘導、交流回路につい ても理解させる。	始業式
5		第2節 電流 ①電流と抵抗 ②直流回路 ③半導体			中間考査
6		第3節 電流と磁場 ①磁場 ②電流が磁場から受ける力 ③ローレンツ力			期末考査 終業式
7		第4節 電磁誘導と交流 ①電磁誘導 ②交流 ③電磁波			
8	第Ⅳ編 原子	第1節 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③X線 ④粒子の波動性	24	光子を用いたアインシュタインの考えによって、光電効果 が説明できることを理解する。X線の発生とその原理を学 習し、特性X線や連続X線、最短波長などについて理解す る。物質波について学習し、弱い光源によるヤングの実験 をもとに、粒子性と波動性の二重性を理解する。ラザ フォードの原子模型、ボーアの原子模型について説明し、 水素のエネルギー準位を理解させる。放射線の種類と本 体、放射能と放射線の性質と利用について説明し、理解さ せる。原子核反応の前後で質量数の和と原子番号の和は それぞれ変わらないことを理解させ、質量欠損、結合エネ ルギーの定義を正しく理解させる。素粒子とは何かを把握 させ、その種類について説明する。	始業式
9		第2節 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核と放射線 ③核反応とエネルギー ④素粒子と宇宙			
10	問題演習	第Ⅰ章 力学 物理基礎の復習① 運動とエネルギー 1.平面運動と放物運動 2.剛体のつりあい 3.運動量の保存 4.円運動と単振動	60	演習問題を通じて現象を正しく把握し、法則のもつ本来 の意義を十分理解させる。 基本から応用まで取り組むようにする。	中間考査
11		第Ⅱ章 熱 物理基礎の復習② 熱 5.気体の性質と分子の運動			期末考査
12		第Ⅲ章 波動 物理基礎の復習③ 波動 6.波の性質 7.音波 8.光波			
1		第Ⅳ章 電気と磁気 物理基礎の復習④ 電気 9.電場と電位 10.コンデンサー 11.電流			終業式
2		12.電流と磁場 13.電磁誘導と交流			始業式
3		第Ⅴ章 原子 14.電子と光 15.原子と原子核			卒業式
3					

教 科 名	理 科	科 目 名	化 学	単 位 数	4 単 位
対 象 学 年	第 3 学 年 普通科特進（理系）	履 修 形 態	必 修	授 業 形 態	講 義
科 目 の 目 標	自然の事物・現象について，化学的に考察する能力と態度を身に付ける。				
学 習 内 容 の 概 要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学 習 方 法	教科書の内容を主に講義によって授業を受ける。問題集は各自が自宅で学習する。				
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	教務規定に従い評価する				
使 用 教 材	数研出版「新編 化学」， 数研出版「リードLightノート 化学」				
そ の 他	原則として、各自で希望大学の受験勉強を行う。 基本的に講習は実施できないので、勉強の仕方やわからない所などは自主的に質問すること。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	無機物質	非金属元素	10	元素を周期表に基づいて分類し、単体や化合物の性質を広く学ぶ。 金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習する。また、金属元素を典型金属元素と遷移元素に分けその違いについても学ぶ。	始業式
		典型金属元素	18		中間考査
		遷移元素	10		
7	有機化合物	有機化合物の分類と分析 脂肪族化合物	10	有機化合物の特徴や分類法、成分元素の検出、分子式を求める方法などを学ぶ。分子の構造に基づく有機化合物の考え方を把握する。 ベンゼン環をもつ化合物の種類とその性質を学ぶ。	期末考査
8					終業式
9		アルコールと関連化合物 芳香族化合物	18		始業式
10	高分子化合物	高分子化合物の特徴 天然有機化合物 高分子化合物	28	生体を構成する有機化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。合成高分子化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。	中間考査
11	総復習と共通テスト対策				
12			30	模擬試験の過去問，共通テスト用問題集を中心に学習し，実力を養成する。	期末考査
1	私立、国公立二次対策				終業式
2			20		始業式
3					卒業式

教科名	理科	科目名	生物	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 特進理系生物選択	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせると同時に、大学入試共通テストに必要最低限の学力をつけさせることを目標とする。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。				
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い評価する。				
使用教材	教科書、数研出版 改訂版 生物 問題集、数研出版 三訂版 リードLightノート生物				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第2編 生殖と発生	第4章 生殖と発生 1.遺伝子と染色体 2.減数分裂と遺伝情報の分配 3.遺伝子の多様な組み合わせ 4.動物の配偶子形成と受精 5.初期発生の過程 6.細胞の分化と形態形成 7.植物の配偶子形成と発生	40	動物の発生について受精卵から生体までの過程を理解させる。その過程ではどのような仕組みがはたしているか、両生類や昆虫類について理解させる。 動物の発生と比較しながら、被子植物の生殖と発生・分化について学ぶ。	始業式
5					中間考査
6					期末考査
7	第3編 生物の環境応答	第5章 動物の反応と行動 1.ニューロンとその興奮 2.刺激の受容 3.情報の統合 4.刺激への反応 5.動物の行動 第6章 植物の環境応答 1.植物の生活と環境応答 2.発芽の調節 3.成長の調節 4.環境の変化に対する応答 5.花芽形成・結実の調節	28	外的要因に対して動物が素早い情報処理をし、正確な反応を引き起こす仕組みについて理解させる。 生物を含む環境に対し、生物が反応し行動が起こる仕組みについて理解させる。 植物が周囲の環境の変化に対応した発生や成長の調節が起こる。その環境応答とその仕組みを植物の一生を通じ学ぶ。	終業式
8					始業式
9					
10	第4編 生態と環境	第7章 生物群集と生態系 1.個体群 2.個体群内の個体間の関係 3.異種個体群間の関係 4.生物群集 5.生態系における物質生産 6.生態系と生物多様性	16	生態学を学ぶ意図を考える。自然界の生物が同種・異種とどのような関係を持ち、共存しているか理解する。 生態系の中で有機物の生産やエネルギーの流れに対し生物の関わり合いを学ぶ。 生物多様性とは何か、ヒトと他の生物との関わりも含め考えさせる。	中間考査
11	第5編 生物の進化と系統	第8章 生命の起源と進化 1.生命の起源と初期の生物の変遷 2.多細胞生物の変遷 3.進化のしくみ 第9章 生物の系統 1.生物の系統 2.生物の多様性	16	生命の起源および生物の変遷と地球環境の変化を理解させる。分子進化の概念や種分化のしくみについても学習する。 生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解させる。その際、形態的な分類、DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列といった分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても扱う。	
12	共通テスト対策		24	生徒個々の進路に応じ受験対策にあてる。	期末考査
1	2次試験対策		20	生徒個々の進路に応じ受験対策にあてる。	始業式
2					共通テスト
3					卒業式

教科名	理科	科目名	科学研究Ⅰ	単位数	2単位
対象学年	第3学年 特進文系	履修形態	必修	授業形態	【講義・演習】
科目の目標	自然科学の一般的な教養を身につけると同時に、共通テストに必要な最低限の学力をつけることを目標とする。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を養う。				
学習方法	1・2年次に学習した基礎的な知識をもとにして教科書の内容を総合的に理解する。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につける。				
評価の観点・ 評価方法	教務規定に従い、一学期・二学期・三学期とも評価する。				
使用教材	教科書、数研出版 新編 生物基礎、数研出版 改訂版新編化学基礎、数研出版 新編 地学基礎 問題集等、数研出版 四訂版リードLightノート生物基礎、数研出版 四訂版リードLightノート化学基礎、 数研出版 リードlightノート地学基礎、 浜島書店 新地学図表				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて課題・宿題提出を行う				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	【生物基礎】 生物と遺伝子 生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系 【化学基礎】 物質の構成と化学結合 物質の構成粒子 粒子の結合 物質と化学反応式 酸と塩基の反応 酸化還元反応 【地学基礎】 惑星としての地球 活動する地球 活動する地球 移り変わる地球 大気と海洋 宇宙の構成 地球の環境	【生物基礎】 生物の特徴 遺伝子とのはたらき 生物の体内環境 植生の多様性と分布 生態系とその保全 【化学基礎】 混合物と純物質 物質とその成分 物質の三態と熱運動 原子とその構造 イオン イオン結合とイオンからなる物質 分子と共有結合 共有結合結晶 金属結合と金属 原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と物質質量 酸・塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応 塩 酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用 【地学基礎】 太陽系の中の地球 地球の形と大きさ 地球の構造 プレートの運動とそれに伴う現象火山 地震と地殻変動 地層の形成 古生物の変遷と地球環境 地球の熱収支 大気と海水の運動 太陽と恒星 宇宙のすがた	72	1年次受講した化学基礎と地学基礎、及び 2年次受講した生物基礎の基礎学力の定着を問題集等を用い行う。また、各外部模試の対策も行う。 大学入試共通テストに向け、生徒の進路に合わせ基礎科目2つに照準を絞って問題演習を行う。 問題に対する解説や、生徒からの質問に対応するなど適宜行う。	始業式
5					中間考査
6					期末考査
7					終業式
8					始業式
9					
10					中間考査
11					期末考査
12					終業式
1					始業式
2					
3					卒業式

教科名	理科	科目名	科学研究Ⅱ	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科進学	履修形態	必修	授業形態	【講義・演習】
科目の目標	看護系や公務員系に進む普通科の生徒に対し、進路決定に必要な必要最低限の学力をつけさせることを目標とする。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と問題演習。				
学習方法	1、2年次に学んだ生物基礎・地学基礎・化学基礎の教科書の内容を復習する。また、問題演習を通じて知識の定着をはかる。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い、一学期・二学期・三学期とも評価する。				
使用教材	教科書、数研出版：改訂版 新編生物基礎・化学基礎、第一学習社：改訂地学基礎（1、2年で購入したもの） 問題集、数研出版：化学基礎準拠ノート、リードlightノート生物基礎（1、2年で購入したもの） 第一学習社：改訂ネオパルノート 地学基礎（1、2年で購入したもの）				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて必要に応じて個別指導を行なう				

年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	理科演習	生物基礎演習 地学基礎演習 化学基礎演習	43	1、2年次に学習した基本内容を復習し、問題演習などを通して理解を深める。	始業式
5					
6					中間考査
7					期末考査
8			56	進学先や受験に必要な生徒に対して個別に理解を深めるよう指導する。	終業式
9					始業式
10					
11					中間考査
12					期末考査
1					終業式
2					
3			9		始業式 卒業考査
4					
5					卒業式

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科女子	履修形態	必修	授業形態	実技
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を完成させる。				
学習方法	陸上・バドミントン・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに常に互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験、観点別評価、出席点での評価とする。				
使用教材					
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	陸上	跳躍	3 3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式
5		投てき	3 3 3		中間考査
6		競走	3 3 3		期末考査
7		跳躍・投てき・競走	3 3 3	測定。	終業式 夏期補習
8	バドミントン	サーブ	3	サーブの種類を覚える	始業式
9		乱打	3 3 3	回数を決めて連続で 打ち合えるようにする。	学校祭
10		スマッシュ	3 3 3	スマッシュの種類を覚えて、 思い切り打てるようにさせる。	中間考査
11		ゲーム	3	協調性を高める学習をする。	
			3 3 3		期末考査
12	バスケットボール	パス	3 3 3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	終業式
1		ドリブルシュート	3 3 3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式
2		ゲーム	3 3 3	協調性を高める学習をする。	入試
					期末考査
3					終業式

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科男子	履修形態	必修	授業形態	実技
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・マット運動・サッカーを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験、観点別評価、出席点での評価とする。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	陸上	跳躍	3 3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式
5		投てき	3 3 3		中間考査
6		競走	3 3 3		期末考査
7		跳躍・投てき・競走	3 3 3	測定。	終業式 夏期補習
8	バレーボール		3	パスの種類を覚える。 (オーバーパス、アンダーパス) 正しいパスの仕方を学ぶ。	始業式
9		パス	3 3 3 3		学校祭 中間考査
10		ドリブルシュート	3 3 3 3		
11		ゲーム	3 3 3		期末考査
12	バスケットボール	パス	3 3 3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	終業式
1		ドリブルシュート	3 3 3		始業式
2		ゲーム	3 3 3 3		入試 期末考査
3					終業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位	
対象学年	第3学年 特別進学コースαβ		履修形態	必修	授業形態	【講義】
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。					
学習内容の概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。					
学習方法	1.教科書の各単元に対する予習 1)新出英単語と語句 2)内容把握問題 2. 音声に関する練習 1)リスニングによる内容把握練習 2)シャドーイング 3)発声練習					
評価の観点 評価方法	1. 平常点(本校英語科設定の観点別評価に依る)(20%) 2. 出席点(10%) 3. 考查点(70%)					
使用教材	●教科書、Revised LANDMARK English Communicaion III(啓林館)					
その他	●教科書、Revised LANDMARK English Communicaion III 予習ノート(啓林館)					
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	●Lesson 1	●Caffeine: The World's Favorite Drug	12	●テキストを通じて、理由や根拠も鑑みながら日常的に摂取しているカフェインについて見直し、自分の意見を発信させる。	始業式 新入生オリエンテーション	
5	●Lesson 2	●Blood Is Blood	8	●テキストを通じて、理由や根拠も鑑みながら(日常レベルにおける広い意味での)異なる文化圏の人々と共存するために何が大切なのかを考え、自分の意見を発信させる。	中間考査	
	●Lesson 3	●Australia and its Creatures	8	●テキストを通じて、オーストラリア独自の生態系に関して、どんなことが自分たちにとって興味深かったか、驚異的であったかを振り返り、自分の意見を発信させる。		
6	●Lesson 4	●The \$100,000 Salt and Pepper Shaker	8	●テキストを通じて、日常生活のなかで、自分たちの行動(親切・やさしさ)が他者にどのような影響を及ぼすかを思い出し、考えさせ、自分の意見を発信させる。	期末考査	
	●Lesson 5	●Bilingual Effects in the Brain	8	●テキストを通じて、バイリンガルになることの利点を理解しながら、今後、どの第2言語を身につけ、どのように生きていきたいか、自分の意見を発信させる。		
7	●Lesson 6	●Communication without Words	6	●テキストを通じて、学んだことを元に、デートなど、自分たちの日常生活においてもジェスチャーがいかに重要な役割を果たすかを考え、自分の意見を発信させる。	終業式	
8	●Lesson 6 (続き)		6		始業式	
9	●Lesson 7	●Political Correctness	16	●テキストを通じて、“political correctness”について理解し、その上で、できるかぎり自分たちの日常生活に対応させながら、その行使が、どんな場合に、なぜ難しいかを考えさせ、自分の意見を発信させる。		
10	●Lesson 8	●Animal Math	16	●テキストを通じて、ヒトを含めた動物が自然界で生き残るために数的処理を行うようになったことを理解し、そのことを踏まえながら、自分たちの日常生活のなかで数学がいかに有益であるかを例示させ、自分の意見を発信させる。	中間考査	
11	●Lesson 9	●The Story of My Life	16	●テキストを通じて、サリバン先生の教育方法を理解するなかで、もしも自分ならば「愛」をどのように表すか、またその理由は何かを考えさせ、自分の意見を発信させる。	期末考査	
12	●Lesson 10	●Extinction of Languages	16	●テキストを通じて、少数言語が滅びつつある現状を学んだ上で、英語はそれらの言語に取って代わるべきかどうかを考えさせ、自分の意見を発信させる。		
1	●二次試験指導	●個別指導	16	●個別に入試問題の演習をする。	始業式・実力テスト	
2	●二次試験指導	●個別指導	16	●個別に入試問題の演習をする。	期末考査	
3	●二次試験指導	●個別指導	8	●個別に入試問題の演習をする。	卒業式 終業式	

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4単位
対象学年 学科・コース	第3学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義
学習の到達目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容の概要	教科書各課の題材内容やそれに関する情報などを読み聞きして理解し、分かったことやそれに関する自身の意見を書いたり聞き手に伝えたりする。				
使用教材	LANDMARK Fit English Communication III および同予習・完成ノート				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習の到達目標
4	ディスコースマーカー Lesson 1	ディスコースマーカー Emperor Penguins	16	英文読解に必要な基礎知識を身に付ける。 コウテイペンギンの特徴や生活を読み聞きして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。
5	Lesson 2	Caffeine	16	カフェイン摂取の利害や文化との関わりを読み聞きして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。
6	Lesson 3	Blood is Blood	16	黒人差別とそれと戦うドルーについて読み聞きして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。
7	Lesson 4	Biomimetics	12	バイオミメティクスとその応用について読み聞きして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。
8	Lesson 5	Communication without Words	4	ボディーランゲージとその必要性を読み聞きして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。
9	Lesson 6	Christmas Truce	16	クリスマス期間の停戦の様子を読み聞きして理解し、自身の意見を書いたり発表する。
10	Lesson 7	Political Correctness	16	差別や偏見のない用語の使用について読み聞きして理解し、自身の意見を書いたり発表する。
11	Lesson 8	Global Water Crisis	16	世界的な水不足の実態と対策について読み聞きして理解し、自身の意見を書いたり発表する。
12	Lesson 9	Animal Math	16	動物が生来持つ数学的な能力について読み聞きして理解し、自身の意見を書いたり発表する。
1	Lesson 10	The Poorest President in the World	16	ウルグアイの元大統領ムヒカの政策や方針について読み聞きして理解し、自身の意見を書いたり発表する。
2				
3				

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して言語活動を英語で行う。				
学習方法	聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりするといった4技能を結びつけた言語活動を通してコミュニケーション能力を育成する。生徒の実態に応じて、基礎的な学習事項を復習整理し、習熟するように指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点については観点別評価を踏まえ、評価する。				
使用教材	All Aboard! English Communication Ⅲ (東京書籍) All Aboard! English Communication Ⅲ WORKBOOK (東京書籍) 英語マスターノート(増進堂) クラウン チャンクで英単語 Basic (三省堂) ベーシックジーニアス英和辞典 (大修館書店)				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson1 Mystery Circles under the Sea	アマモシゾラフグの生態について読み、その特徴を学ぶ。	9	動詞の現在形・過去形	始業式 新入生合宿
5	Lesson2 Gifts to Barcelona	ガウディのデザインによるユニークな建築物の特徴とバルセロナにおけるそれらの意味について学ぶ。	12	現在完了形	 中間考査
6	Lesson3 Images on Coins	硬貨・紙幣のデザインを通してその国や地域を象徴するものについて学ぶ。	12	不定詞・動名詞	 期末考査
7	Lesson4 Witnesses of War	戦争中に路面電車の運転士となった女子生徒の経験について学び、路面電車が広島の復興に果たした役割について考える。	6	受け身	 終業式 夏期補習
8	Lesson4 Witnesses of War	戦争中に路面電車の運転士となった女子生徒の経験について学び、路面電車が広島の復興に果たした役割について考える。	3	受け身	 始業式
9	Lesson5 Love Letters	手書きの手紙を送るハナさんの取り組みについて学ぶ。	12	関係代名詞	
10	Lesson6 The Natural Treasures of Ogasawara	世界自然遺産に登録された小笠原諸島の現状と直面する問題について学ぶ。	12	仮定法過去	 中間考査
11	Lesson7 The Terracotta Warriors	秦の始皇帝と彼が作らせた兵馬俑の謎について学ぶ。	12	関係代名詞	 期末考査
12	Lesson8 The Journey of Our Clothes	普段身につけている洋服がどこから来たのか考え、また、エシカル・ファッションについて学ぶ。	9	後置修飾の分詞	 終業式
1	Lesson8 The Journey of Our Clothes	普段身につけている洋服がどこから来たのか考え、また、エシカル・ファッションについて学ぶ。	9	後置修飾の分詞	 始業式 卒業考査
2					
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語表現Ⅰ	単位数	2単位
対象学年	第3学年 特別進学コースβ 文系	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	① 情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。 ② この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定する。その場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くこと。				
学習方法	聞くこと、話すことおよび読むことも有機的に関連付けた活動を行いながら、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように学習する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は観点別評価を踏まえ、評価する。				
使用教材	Vision Quest English ExpressionⅠ Standard・Keirinkan				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	Let's have lunch together sometime.	2 2 2	Introductions Intonation Backchannel responses Types of sentences	始業式
5	Lesson 2	Are you interested in Japanese anime?	2 2 1 2	Interests Rhythm Rephrasing Changing the subject Sentence patterns and verbs	中間考査
6	Lesson 3	I'm going to Okinawa with my family.	2 2 2 2	Travel Vowels Making plans / scheduling Tense	期末考査
7	Lesson 4	I hear you've joined the soccer team.	2 2 2	Sports Consonants Stating causes or reasons Perfect aspect	終業式
8	Lesson 5	Can you tell me what ammitsu is like?	2	Eating out Katakana words Asking for permission Asking favors Auxiliary Verbs	始業式
9	Lesson 6	I'm so glad I can see the Sydney Opera House.	2 2 2 2	Sightseeing Pronunciation of numbers Expressing pleasure / surprise Passive voice	
10	Lesson 7	It's very nice of you to say so.	2 1 2 2	Socializing Word stress Thanking Apologizing Infinitives	中間考査
11	Lesson 8	How about going to see a musical?	2 2 2 2	Pastimes Sound links Inviting someone Making offers Gerunds	期末考査
12	Lesson 9 Lesson 10	I'm for school uniforms. How do you spend Christmas?	2 2 2	Rules Agreeing / Disagreeing Participles Cultures Explaining Relative clauses	終業式
1	Lesson 11 Lesson 12	Did you watch the debate on TV last night? I wish my parents were more understanding.	2 2 2	Social problems Asserting Comparison Personal problems Giving advice Subjunctive	始業式
2	Exercise Lesson	Exercises for entrance examinations	2 2 2 2		
3					卒業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語研究	単位数	2単位
対象学年	第3学年 特別進学コースαβ	履修形態	必修	授業形態	【講義・演習】
科目の目標	受験に必要な知識を身につけ、演習を通して活用できる力を身につける。				
学習内容の概要	演習を中心にを行い、共通テスト及び大学入試問題に対応できる力を身につける。				
学習方法	・ワークの演習 ・単語テスト ・英語諸活動				
評価の観点 評価方法	1. 平常点(本校英語科設定の観点別評価に依る)(20%) 2. 出席点(10%) 3. 考查点(70%)				
使用教材	『2024共通テスト対策【実力完成】直前演習 英語リーディング』(ランズ),『2024共通テスト対策【実力完成】直前演習 英語リスニング』(ランズ)				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	教材による英語の基礎知識の定着 (文法・語彙・長文読解)	【文法】教材を使用し、高校生で学ぶ英文法を演習を通して学ぶ。 【語彙】毎週50語を単語テストを通じて学習する。 【長文読解】ワークと模試の過去問を時間を決めて解く。時間以内に解き切る力を育成する。	6	大学入試共通テスト第1問を決められた時間内で解き切る力を身につける。	始業式 新入生オリエンテーション
5			6	大学入試共通テスト第2・3問を決められた時間内で解き切る力を身につける。	中間考査
6			8	大学入試共通テスト第4問を決められた時間内で解き切る力を身につける。	期末考査
7			6	大学入試共通テスト第5問を決められた時間内で解き切る力を身につける。	終業式
8			2	大学入試共通テスト第6問を決められた時間内で解き切る力を身につける。	始業式
9	大学入試共通テスト及び大学入試問題を使用した英語演習 (文法・語彙・長文読解)	【文法】演習を通して、英文法を学ぶ。 【語彙】毎週50語を単語テストを通じて学習する。 【長文読解】大学入試共通テスト及び大学入試問題の過去問を時間を決めて解く。時間以内に解き切る力を育成する。	8	【文法】簡単な入試問題を解き、英文法の知識を広げることができる。 【語彙】単語1000語の定着 【長文読解】時間以内に平易な英文を読み、問題を解き終わることができる。 【リスニング】出会った長文問題をCDを使用しての音の確認を行い、音読ができるようになる。さらに、オーバーラッピングやシャドーイングを通して英語の音を習得できるようにしたい。	
10			8		中間考査
11			8		期末考査
12			6		
1			6		始業式・実力テスト
2	●二次試験指導	●個別指導	8	●個別に入試問題の演習をする。	期末考査
3	●二次試験指導	●個別指導	8	●個別に入試問題の演習をする。	卒業式 終業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語研究	単位数	2単位
対象学年	第3学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容の概要	演習問題に取り組みながら、必要な基礎知識を身に付け、応用しながら活用の幅を広げる。				
学習方法	基礎文法事項を理解し演習問題を解く。応用問題を読む・聞く・書く・話す。				
評価の観点 評価方法	[評価の観点]既習の知識・技能の活用力／題材を扱う中での思考・判断・表現力／主体的に課題やコミュニケーションに取り組む態度 [評価方法] 小テスト・定期考査／発表／課題等の提出／授業に対する態度				
使用教材	駿台受験シリーズ英作文基礎10題ドリル／その他				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1講 第2講 第3講	三人称単数現在のsの確認 否定の確認 語順の確認①	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	始業式 新入生オリエンテーション
5	第4講 第5講 第6講 第7講	語順の確認① 名詞・形容詞の用法① 名詞・形容詞の用法② 名詞・形容詞の用法③	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	中間考査
6	第8講 第9講 第10講 第11講	前置詞の用法① 前置詞の用法② 数量・数字の表現① 数量・数字の表現②	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	期末考査
7	第12講 第13講 第14講 第15講	主語の決定① 主語の決定② 時制の決定① 時制の決定②	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	終業式
8	第16講 第17講	時制の決定③ 時制の決定④	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	始業式
9	第18講 第19講 第20講 第21講	動詞の用法① 動詞の用法② 動詞の用法③ 動詞の用法④	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	
10	第22講 第23講 第24講 第25講	動詞の用法⑤ whatの用法 節への変換 関係詞の用法①	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	中間考査
11	第26講 第27講 第28講 第29講	関係詞の用法② 目的の表現 理由の表現 比較の用法①	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	期末考査
12	第30講 第31講 第32講	比較の用法② 比較の用法③ 条件節・仮定法の用法①	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	
1	第33講 第34講 第35講 第36講 × ×	条件節・仮定法の用法② 譲歩の表現 itを用いた表現① itを用いた表現②	8	各文法事項を理解し、活用できる力を身につけ、大学入試問題や検定問題に対応できる力を育成する。	始業式・実力テスト
2					期末考査
3					卒業式 終業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語研究	単位数	2単位	
対象学年	第3学年 総合選択コース		履修形態	必修	授業形態	【講義・演習】
科目の目標	最も基本的な中学校の英語の復習からスタートし、高校の英語力も身につけることができるようにする。					
学習内容の概要	中学校で習った英文法の復習や高等学校における新出の英文法を学習する。					
学習方法	生徒の実態に応じて、問題集やプリントなど補助教材を併用し、中学校における基礎的な学習事項を復習整理し、習熟するように指導する。					
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。					
使用教材	LEARNER'S ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGE!(数研出版)					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	LEARNER'S ENGLISH	学習に必要な基礎知識 文の種類(1) pp.4-5 文の種類(2) pp.8-9 動詞の形の変化 pp.10-11 pp.12-13	6	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	始業式	
5	LEARNER'S ENGLISH	現在時制・過去時制 pp.14-15 未来表現 pp.16-17 完了形(Ⅰ) pp.18-19 完了形(Ⅱ) pp.20-21	8	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	中間考査	
6	LEARNER'S ENGLISH	不定詞(Ⅰ) pp.34-35 不定詞(Ⅱ) pp.36-37 不定詞(Ⅲ) pp.38-39 不定詞 pp.40-41	8	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	期末考査	
7	LEARNER'S ENGLISH	動名詞 pp.42-43 動名詞 pp.44-45	8	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	終業式 夏期補習	
8	LEARNER'S ENGLISH					
		受動態(Ⅰ) pp.30-31	4		始業式	
9	LEARNER'S ENGLISH	受動態(Ⅱ) pp.32-33 比較(Ⅰ) pp.50-51 比較(Ⅱ) pp.52-53 関係詞(Ⅰ) pp.56-57	8	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く		
10	LEARNER'S ENGLISH	関係詞(Ⅱ) pp.58-59 関係詞(Ⅲ) pp.60-61 関係詞 pp.62-63 仮定法(Ⅰ) pp.64-65	8	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	中間考査	
11	LEARNER'S ENGLISH	仮定法(Ⅱ) pp.66-67 接続詞 pp.68-69 話法 pp.70-71 否定 pp.72-73	8	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	期末考査	
12	LEARNER'S ENGLISH	強調・倒置・省略 pp.74-75 無生物主語・名詞構文 pp.76-77 前置詞 pp.78-79	6	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	終業式	
1	LEARNER'S ENGLISH	分詞(Ⅰ) pp.46-47 分詞(Ⅱ) pp.48-49 比較(Ⅰ) pp.50-51	8	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	始業式 卒業考査	
2						
3					卒業式	

教科名	商業	科目名	課題研究	単位数	4単位	
対象学年	第3学年 普通科総合選択コース ビジネス関連選択		履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標	この科目は普通科総合選択のビジネスコースの生徒に対し、3年次において全商簿記検定2級を取得することを目指すとしている。3級で学んだ個人企業の基本的な内容に加えて、特殊な取引・株式会社会計の基本内容を学ぶことにより、更に企業の経済活動への理解を深めることを図る。					
学習内容の概要	全商2級までの範囲の学習を通し、帳簿記入によって企業の経済活動を把握する力を養うとともに、経済・経営への興味・関心の啓発をはかる。また、検定試験を目標とした演習等において範囲の総復習と習熟を図る。					
学習方法	帳簿記入に用いられる科目を、分野・段階別に学習して行き、各段階における学習効果の充実を図る。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。					
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価とし、知識・技能・思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む姿勢を客観的に判断し、20点満点で評価する。					
使用教材	ア. 実教出版「新簿記」 イ. 東京法令出版「完全段階式 標準簿記問題集」《全商2級》 ウ. 実教出版「簿記実務検定 模擬問題集 2級」 エ. 教師作成プリント					
その他	補習 進度・習熟度について判断し、必要に応じて行う。					
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	3伝票制による記帳 決算	3伝票制による記帳 減価償却費(定率法)・有価証券の評価・現金過不足・当座借 訂正仕訳・費用収益の見越し、繰り延べ・精算表・損益計算書・貸借対照表	14	入金伝票・出金伝票・振替伝票について説明し、仕訳集計表・補助簿について学習する。	始業式	
5	決算		14	3級の決算整理事項との違いを理解し、その効果について考えながら学習する。		
6	本支店	本支店間の取引 本支店財務諸表の合併	17	支店が独立の取引内容をイメージしながら仕訳練習を行い、本支店においての貸借対照表・損益計算書の合併について学ぶ。	期末考查	
7	各種取引の処理	現金過不足・手形取引の記帳 手形貸付金・手形借入金・有価証券・個人企業の純資産、税金	14	それぞれの取引について意味を考えながら取り組む。	終業式	
8	特殊な取引の記帳	手形の書き換え・不渡手形・営業外手形	7	具体的な取引内容をイメージしながら記帳練習を行い、応用力の習得も行う。	始業式	
9	株式会社	株式会社の取引 資本金・資本準備金・創立 費・開業費・株式交付費	17			
10	当期純損益 株式会社の税務	当期純損益の計上 剰余金の配当処分 株式会社の税金	18	個人企業との規模の違いと、それに伴う記帳内容の変化についての理解を図る。	中間考查	
11	総復習・演習	模擬問題 過去の検定問題	18	総復習を行うことによって、8ヶ月間の学習内容を整理・理解する。	期末考查	
12			14		終業式	
1	総復習・演習 検定試験受験		12	演習によって記帳に習熟し、検定試験の合格を目指す。	始業式 卒業考查 全商簿記検定	
2	総復習・演習		9	総復習を行う。	期末考查	
3					卒業式 終業式	

教科名	商業	科目名	課題研究	単位数	4単位
対象学年	第3学年 総合選択コース ビジネス関連選択	履修形態	選択	授業形態	実習
科目の目標	文書作成に関わる技術や専門知識を習得し、職業資格の取得に向けて主体的に取り組む態度を養う 労働意欲の高揚となる動画を活用し、生徒が主体的に作品制作に取り組み、発表する技術を養う				
学習内容の概要	①2年次に学習した文書作成の技術を高め、ビジネス文書実務検定の資格取得に臨む ②プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の専門的技術を習得し、主体的に作品制作に取り組む				
評価の観点・評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価とし、知識・技能・思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む姿勢を客観的に判断し、20点満点で評価する				
使用教材	自主作成教材				
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	全商ビジネス文書 実務検定3級 速度部門 ビジネス文書部門	2年次の復習	12	現在の実力を把握し自らの課題に取り組む	始業式
5		検定3級合格に向けて取り組む	16	主体的に検定対策に取り組む	中間考査
6		検定過去問題への取り組み	16	実技試験のみではなく筆記試験学習にも取り組む	
7	全商ビジネス文書 実務検定2級 速度部門 ビジネス文書部門	検定2級合格に向けて取り組む 検定過去問題にも取り組む	12	主体的に検定対策(速度部門・文書作成部門)に取り組む 実技試験のみではなく筆記試験学習にも取り組む	期末考査 検定試験 終業式
8			8		始業式
9			16		
10			16		中間考査
11			16		
12	PowerPointの活用 作品制作	作品内容の構成 ・資料集め ・作品制作 ・作品確認	12	制作するもとなる資料を作成し、実際にコンピュータを利用して主体的に作品の制作を行う	検定試験 期末考査 終業式
1	作品制作の発表 (プレゼンテーション)	各自が制作した作品を発表する	12	発表者は発表するポイント を、聴講者も傾聴の姿勢を 大切にする	始業式 卒業考査
2			8		
3					卒業式

教科名	商業	科目名	課題研究	単位数	3
対象学年 学科・コース	3 学年普通科 総合選択アート群	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
学習の到達目標					
知識及び技能		思考力、判断力、表現力		学びに向かう力	
芸術全般の基礎知識・技能の習得		実習を通し、思考力・判断力・表現力の習得		知識を身に着け、考え、実行	
学習内容の概要	基礎的技術をもとに実習・制作を行います。				
評価の観点・ 評価方法	1. 【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 定期考査と小テスト 2. 【主体的に学習に取り組む態度】 パフォーマンステストと授業中の取り組み				
使用教材	実教出版「コンピュータデザイン」				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習の到達目標	
4	造形の基礎	デザインとは、何かを学ぶ	9	デザインがもたらすものを理解する	
5	造形の要素	形態・色・材質感・空間・時間	13	造形の要素を理解する	
6	造形の構成	構成の基本	11	数理的秩序・調和を理解する	
7	観察から表現へ	観察 表現の課程と技法	7	観察から表現する	
8	観察から表現へ	観察 表現の課程と技法	7	観察から表現する	
9	メッセージと表現	記号による意味	11	表現アイデアの手法	
10	身近な生活のデザイン	自分をデザインする	13	自分をデザインする	
11	身近な生活のデザイン	学校をデザインする	9	学校をデザインする	
12	身近な生活のデザイン	学校を情報化する	9	学校を情報化する	
1	知らせるデザイン	広告ポスターを作る	9	作品完成・発表	
2	知らせるデザイン	手紙をデザインする 学級新聞をデザインする	11	手紙をデザインする 作品完成・発表	
3					

教科名	商 業	科目名	総合実践	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 <small>総合選択コース・ビジネス関連選択</small>	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	この科目は広く商業科で学んだ知識や各種の技術を実際に自分達で実践して見るという実習形式の授業で各科目で学んだ学習内容の定着を図ると同時に、挨拶・言葉遣いを始め、自主性・積極性・責任感・協調性など就業(社会生活)の基本を身に付ける事を目標としている。				
学習内容の概要	各自がペアを組んで模擬の会社を設立し、売買取引や経費の支払いなどそれに付随する取引をPC上で行い、それを各自で会計処理し決算まで協力して行う。				
学習方法	システム・フューチャー社製の総合実践授業支援ソフト、「スーパー実践くんWEB版」を使用し、見積依頼書から代金決済まで、また、経費の支払いや付随する業務を体系的に学習し、PCで会計処理を行い、決算に至る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、各学期は中間・期末の考查点と一部、考查に代替する提出課題及び平常点・出席点で評価する。平常点20点は意欲・態度、知識・技術、創意工夫等の観点別で評価する。				
使用教材	教科書(自主教材)・補助プリント				
その他	課題の提出は単位認定の必修事項とする				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	総合実践について 概要説明 導入授業	学習に当たっての目標・注意事項 授業を行うに当たっての一般的な知識や心構えの指導	10	ペアを組んだ実習授業の意味を理解させると共に、必要な事柄について、指導する。	始業式
5	機器の使用説明 同時同業取引	機械やソフトウェアの使用説明 取引の説明後に取引 (研究授業を実施した場合変更あり)	10	機械やソフトの使い方を覚える 取引の流れについて覚える	中間考查
6	同時同業取引 決算指導	商品売買・他取引 決算の意味や仕組み等事前指導	13	実際に教科書に従い取引を行う 決算について意味を理解する	
7	決算指導① 課題提出指導① 進んだ学習	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング指導 模擬実践授業の一部展開	11	決算処理を行う 提出に向けて課題を整理する 模擬実践の一部を学習する	期末考查 終業式
8	決算指導① 課題提出指導① 進んだ学習	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング 模擬実践授業の一部展開 機器の説明・調整等	5	続いて決算処理を行う 続いて提出に向けて課題を整理 模擬実践の一部を学習する	始業式
9	配置転換(ペア変更) 模擬取引導入指導	企業配置・ペア変更 模擬実践の仕組み説明 機器の使用に慣れる	13	ペアを変え協力・協調させる 模擬実践取引の流れを理解させる	
10	模擬取引	模擬実践取引 機器の使用に慣れる	13	模擬実践取引を行う	中間考查
11	模擬取引	模擬実践取引 機器の使用に慣れる	13	模擬実践取引を行う	
12	決算指導① 課題提出指導①	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング指導 機器の使用に慣れる	10	決算処理を行う 提出に向けて課題を整理する	期末考查 終業式
1	決算指導② 課題提出指導② 就業前指導	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング指導	5	続いて決算処理を行う 続いて提出に向けて課題を整理する	始業式 期末考查
2	課題提出指導② 就業前指導	課題の整理などファイリング指導 就業(社会生活)の心構え等指導	5	続いて提出に向けて課題を整理する	

教科名	商 業	科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	3単位	
対 象 学 年	第3学年 総合選択コース 生活関連選択		履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	職場において必要とされるマナー、大人としての嗜みについて、2年時に学習したビジネスマナーの内容をより深く学習するとともに、社会に出る直前の生徒に職業意識の高揚を図る。					
学 習 内 容 の 概 要	秘書検定2級の内容を通じて働く上で必要な知識、技能等を身につける。 実社会に出た上で必要とされるマナーについて詳しく学ぶ。					
学 習 方 法	座学による学習。單元ごとに問題を与え、理解度を図る。					
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は観点別評価で算出する。					
使 用 教 材	自主教材テキスト『ビジネスマナー』					
そ の 他	原則的に補習は行わない。 秘書検定2級取得も目標のひとつとする。（受験は任意）					
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	秘書検定2級対策	筆記問題対策 文書に関する問題 郵便に関する問題	10	2年次に学習した3級の範囲に加え、新たに 出題される語句を説明し、具体例を 挙げながら理解させる。	始業式	
5	秘書検定2級対策	筆記問題対策 言葉遣いに関する問題 慶弔に関する問題	12		中間考査	
6	秘書検定2級対策	模擬問題を活用 過去問題を解く グループ学習	12	検定に向けて、過去問題を活用し幅広く 復習する。場合によっては少人数のグ ループを組み、互いに意見を交わしなが ら主体的に取り組む理解させる。	秘書検定 期末考査	
7	秘書検定2級 総復習	全範囲から厳選した問題に 取り組む	9	秘書検定2級の全範囲の中から、特 に今後の実社会で重要となる項目を 厳選して取り上げ理解させる。	終業式	
8	仕事の進め方	来客応対の基本	3	来客を迎える際のモノと心の準備を 理解させる。	始業式	
9	仕事の進め方	訪問のマナー 席次の基本 会議の基礎知識	12	訪問の仕方からあらゆる場所におけ る席次、会議の種類、エチケットに ついて理解させる。		
10	仕事の進め方	ビジネス文書 ・文書の基本、書き方 ・社外文書の慣用句 ・ビジネスレター	12	前文、本文、末文といった基本を習 得し、分かりやすい文書の作成を理 解させる。	中間考査	
11	仕事の進め方	・文書の整理、保管 ・封筒、葉書の書き方 ・文書の受診、発信	12	更にビジネス文書の基本的なことを 理解させる。	期末考査	
12	仕事の進め方	職場の人間関係 ・良い人間関係を作る ・好かれる人への努力 ・こんな人は嫌われる	10	社会人として必要な言葉、行動、態 度を理解させる。	終業式	
1	知っておきたい業 務知識	給与 ・給与のしくみ ・賞与 税金 ・給与に関する税金	9	給与所得者となる自覚を促し基本的 なことを理解させる。	始業式 卒業考査	
2	知っておきたい業 務知識	保険 ・健康保険 ・厚生年金保険 ・雇用保険	7	社会人として必要な知識である、保 険の制度について理解させる。		
3					卒業式	

教科名	商業	科目名	税務会計	単位数	3単位	
対象学年	第3学年 普通科総合選択 ビジネスコース		履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	全国経理教育協会主催 所得税法3級の取得を目指す。					
学習内容の概要	検定試験を目標とした演習等において確定申告書の作成の習熟を図る。					
学習方法	教師作成プリントを中心に、学習を進める。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。					
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価とし、知識・技能・思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む姿勢を客観的に判断し、20点満点で評価する。					
使用教材	ア. 教師作成プリント イ. 所得税法3級直前模試					
その他	補習 進度・習熟度について判断し、必要に応じて行う。					
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	所得税の概要	所得の意義 所得の種類と所得税計算の仕組み 源泉徴収制度 青色申告制度	10	所得の意義や種類・所得税計算の簡単な仕組みを理解する。	始業式	
5	所得税の概要	所得の意義 所得の種類と所得税計算の仕組み 源泉徴収制度 青色申告制度	12	源泉徴収制度・青色申告制度の意味を理解する。		
6	所得内容とその計算方法	利子所得 給与所得 配当所得 退職所得 不動産所得 山林所得 事業所得 譲渡所得 一時所得 雑所得	12	それぞれの所得の計算方法を理解し、習熟を図る。		
7	所得控除と課税総所得金額	所得控除の意義 所得控除の種類	9	所得控除の種類と控除額の計算を理解する。	期末考查 終業式	
8	所得控除と課税総所得金額	総所得金額の計算	8	所得控除の種類と控除額の計算を理解する。	始業式	
9	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	13	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。		
10	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	13	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	中間考查 所得税法3級受験	
11	所得控除と課税総所得金額	2級の所得控除・総所得金額の計算	13	2級の所得税の実務での活用を確認するため、個人事業主が自分で確定申告を行えるよう学ぶ。		
12	所得控除と課税総所得金額	2級の所得控除・総所得金額の計算	11	2級の所得税の実務での活用を確認するため、個人事業主が自分で確定申告を行えるよう学ぶ。	期末考查 終業式	
1	所得控除と課税総所得金額	2級の所得控除・総所得金額の計算	8	2級の所得税の実務での活用を確認するため、個人事業主が自分で確定申告を行えるよう学ぶ。	始業式 全商簿記検定	
2	所得控除と課税総所得金額	2級の所得控除・総所得金額の計算	6	2級の所得税の実務での活用を確認するため、個人事業主が自分で確定申告を行えるよう学ぶ。	期末考查	
3					卒業式 終業式	

教科名		商 業	科目名	ビジネス知識と法	単位数	3単位	
対 象 学 年		第 3 学 年 総合選択コース ビジネス関連選択		履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標		○主に民法の条文が生かされる事例を教材として活用し、学習内容の具体性を伴う展開を心がけ、生徒の興味関心を育てる。 ○社会に出る直前の生徒に、労働法により守られている労働者の権利について基本的知識を身につけさせる。					
学 習 内 容 の 要 概		○ビジネスに関する知識を多角的に学ばせることと並行して、それに関連する法律関係について実例を通して学ばせる。 ○労働基準法の内容を取り扱い、働くということが法的な観点から見てどのようなものなのかを理解させる。					
学 習 方 法		座学による学習。單元ごとに問題を与え、理解度を図る。					
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法		規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は観点別評価による。					
使 用 教 材		配布プリント 自主教材テキスト『仕事と労働法』					
そ の 他							
年 間 授 業 計 画							
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	物と財産権	物の種類 物と物との関係 相隣関係 用益物権	9	物の分類について、その区別と区別することの法律上の意味を理解させる。 所有権について説明した後、その制限としての相隣関係を理解させる。	始業式		
5	財産権の変動 不法行為	所有権が取得できる特別な場合 一般の不法行為 無過失責任 特殊な不法行為	12	財産権の変動する制度について、その制度の趣旨や内容を理解させる。 不法行為の意義や一般の不法行為の成立要件について理解させる。 特殊な不法行為について、その責任の根拠を考えさせ理解させる。	中間考査		
6	不法行為	不法行為と損害賠償	12	損害賠償の性質や範囲について理解させる。 過失責任の意義と内容を理解させる。			
7	不法行為 グローバルマーケティング	不法行為と損害賠償 適合化と法律関係	9	不当利得について、例題を挙げながら理解させる。 例題を挙げながら、現地適合化と法律関係について考えさせる。	期末考査 終業式		
8	労働基準法とは	労働基準法と労働法	3	労働基準法の概略について理解させる。 様々な労働法について理解させる。	始業式		
9	労働者とは？使用者とは？ 労働契約 就業規則	労基法上の労働者、使用者 労働契約とは 就業規則の作成について	12	労基法に定める労働者、使用者の違いについて理解させる。 法的な観点から労働契約、就業規則について理解させる。			
10	労使協定と労働協約 内定と試用期間 賃金	労使協定とは 内定とは 賃金とは	12	労使協定、労働協約の概略について理解 内定、試用期間について理解させる。 賃金支払の5原則等について理解させる。	中間考査		
11	労働時間と休憩 休日と休暇 労災保険	労働時間について 法定休日、年次有給休暇について 各種給付について	9	労働時間と36協定について理解させ 法定休日や年次有給休暇の概略について理解させる。 労災保険の各種給付、通勤災害について理解させる。			
12	労働組合 人事異動	労働組合とは 人事異動の種類	9	労働組合と労働三権について理解させる。 人事異動の種類について理解させる。	期末考査 終業式		
1	懲戒処分 ふみこんだ学習	懲戒処分の種類 発展学習	9	各種懲戒処分の種類とその内容について理解させる。 ビジネス実務法務検定や社会保険労務士試験において過去に出題された問題を取り上げながら、労働法制について深く学ばせる。	始業式 卒業考査		
2	ふみこんだ学習	発展学習	12	ビジネス実務法務検定や社会保険労務士試験において過去に出題された問題を取り上げながら、労働法制について深く学ばせる。			
3					卒業式		

教科名	家庭	科目名	ファッション造形基礎	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 総合選択コース 生活関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	被服構成の基礎、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得させ被服を創造的に制作する能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	制作を通じて、道具の適切な扱い方や基礎的な裁縫技術の習得を目指す。				
学習方法	関連する資料・VTRの使用及び外部講師等による体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、役に立つ知識や技術を身につけさせる。				
評価の観点・ 評価方法	ファッション造形への関心、意欲、態度、技能、知識、理解など観点別に評価する。 規定に従い、1学期・2学期・3学期とも作品点と平常点と出欠点で評価する。				
使用教材					
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	被服構成 被服材料	人体と衣服 衣服素材の性能と選択 衣服材料の選択	11	・着心地のよい衣服をつくるためには、人体の構造や機能、動作時の変化に対応したゆりみ、性別や年齢による体型の変化等を考慮しなければならないことを理解する。 ・縫製に関する基礎的な事項を理解し、製作ができる	始業式 入学式
5	エプロンの制作		11		中間考査
6			11		県総体 期末考査
7	和服の制作 浴衣の制作	裁断・しるしつけ 背縫い おくみを縫う わきを縫う 前はしを縫う	8	・簡単な和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。	期末考査 スポーツ祭 終業式 夏期補習
8			4		始業式
9			12		
10		そでをつくる 袖をつける	12		学校祭 中間考査
11			12		期末考査
12	洋服の制作 ハーフパンツの制作		10		・下半身をおおう衣服の構成と動作への適応について理解をする。
1		・まとめ	9	・1年間を振り返る。	始業式 推薦入試 卒業考査 一般入試
2	・エピローグ、まとめ		8		期末考査
3					卒業式 終業式

教科名	家庭	科目名	生活と福祉	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 総合選択コース 生活関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得させ、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	高齢者の福祉と日常生活における看護・介護についての基礎的・基本的な知識と技術を習得させることをねらいとする。				
学習方法	教科書を基にした講義や関連する資料・VTRの使用及び外部講師等による体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、役立つ知識や技術を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は観点別評価による。				
使用教材	生活と福祉(実教出版)				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	3章高齢者の自立生活支援	・尊厳・ノーマライゼーション	6	・福祉の考えの基になっているノーマライゼーションについて知る。	始業式
5		・自立生活支援の意義	4	・自立を助けるための福祉政策について知る。	中間考査 県総体
		・地域包括支援ケアシステムをめざした地域の役割	4	・地域包括ケアシステムについて、米子市内の法人の実際の取り組みから学習する。	
6		・高齢者介護の考え方	8	・高齢者に多い病気や障害について知り、介護方法や、配慮しなければならないことを学ぶ。	期末考査
7	4章高齢者支援の法律と制度	・社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ	6	・現在に至るまでの日本の福祉政策の歴史を学ぶ。	期末考査 スポーツ祭 終業式
8		・介護保険制度	2	・介護保険制度の目的を学び、制度の内容や申請手順を知る。	始業式
9		・高齢者支援と地域包括ケアシステム	8	・地域包括ケアシステムのねらいや考え方、具体的な取り組みについて知る。	
10	5章介護・看護の実習と生活支援	・介護の実習	8	・体位変換、車いすの扱い方、食事の介助などについての方法を知り、実習を行う。	中間考査 学校祭
11		・看護の実習	8	・火傷、脱水、熱中症、救急救命などについての対応の方法を知り、実習を行う。	
12		・生活支援	4	・高齢者のための調理や洗濯、掃除の支援の方法について学び、実習を行う。	期末考査 期末考査 終業式
1			6		始業式 卒業考査
2			8		
3					卒業式

教科名	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科総合選択コース 生活関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	1. 食品の特徴 2. 料理様式とテーブルコーディネート 3. フードデザイン実習				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を通して、食生活に関する基本的な知識を身に付けるとともに、調理の実習を通して、食品の適切な扱い方や基礎的な調理技術の習得を目指す。 授業で身に付けた食生活に関する知識や技術を日常生活の中で生かし、日々の食生活の改善、充実に努める。 				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は観点別評価による。				
使用教材	実教出版 フードデザイン				
その他	本科目は第2年学年で3単位、第3学年で3単位、合計6単位の履修となっている。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	食品の特徴・表示・安全 フードデザイン実習 (実習施設の 使用状況により 適宜実施)	食品の特徴と性質 穀類、いも類、砂糖 豆類、種実類 フードデザイン実習①	4 4 3	日常よく使用される食品について、食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化、また、それらの加工品について理解する。	始業式
5		食品の特徴と性質 野菜類、果物類 きのこ類、海藻類、 フードデザイン実習②	4 4 3	和洋中それぞれの日常食の調理の仕方を知る。 郷土料理について知る。	中間考査
6		食品の特徴と性質 魚介類、肉類、 卵、牛乳・乳製品 フードデザイン実習③	4 4 3		
7		食品の特徴と性質 油脂類 かんてん・ゼラチン、嗜好食品 フードデザイン実習④	2 3 3		期末考査
8		食品の特徴と性質 調味料・香辛料 加工食品と加工方法	2 2		終業式 始業式
9		食品の特徴と性質 食品の生産と流通 フードデザイン実習⑤、⑥、⑦	3 9	食品の生産の現状を知り、流通方法の特徴と変化について理解する。 和洋中それぞれの日常食の調理の仕方を知る。	
10		食品の特徴と性質 食品の選択と表示 フードデザイン実習⑧、⑨、⑩	3 9	食品の表示について知り、購入時に考慮すべきことを理解する。 和洋中それぞれの日常食の調理の仕方を知る。	学校祭 中間考査
11		食品の特徴と性質 食品の衛生と安全 フードデザイン実習⑪、⑫、⑬	3 9	食中毒や食品添加物の種類や特徴を理解し、安全で適切な食品の選択や取り扱いができるようにする。 供給食の調理方法を理解する。	
12		料理様式とテーブル コーディネート 料理様式とテーブルコーディネート 料理様式と献立 フードデザイン実習⑭、⑮	4 6	日本料理、西洋料理の料理様式について、特徴や献立構成、供給に伴うマナーについて理解する。 正月料理の調理方法を理解する。	期末考査 終業式
1		料理様式とテーブル コーディネート 料理様式と献立 フードデザイン実習⑯、⑰	3 6	西洋料理、中国料理の料理様式について、特徴や献立構成、供給に伴うマナーについて理解する。 供給食の調理方法を理解する。	始業式 卒業考査
2	食育	料理様式とテーブル コーディネート テーブルコーディネート 食育の意義と推進活動	5 3	盛り付けや食器やテーブルクロスなどに配慮する必要があることを理解する。 食育推進活動について知る。	
3					卒業式

教科名		家庭	科目名	子ども文化		単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科総合選択コース 生活関連選択		履修形態	必修		授業形態	講義・実習
科目の目標	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、子どもの文化の充実を図る能力と態度を育てる。						
学習内容の概要	子どもの遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかわり、子どもの表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性などを事例を通して具体的に学ぶ。						
学習方法	・教科書を基にした講義や子どもの遊び、児童文化財に関する体験実習を通して、知識や技術の習得を目指す。 ・授業で身に付けた子ども文化に関する知識や技術を体験実習や日常生活での子どものふれあいの中で生かし、子ども文化の充実に寄与する能力と態度を養うことを目指す。						
評価の観点・評価方法	規定に従い、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は観点別評価による。						
使用教材	「子ども文化」(文部科学省)						
年 間 授 業 計 画							
月	項 目	学 習 内 容		時間	学習のポイント		主な学校行事
4	オリエンテーション 子ども文化とは何だろう	子ども文化とは 子ども文化を歴史から見る		6	・子どもための文化活動、児童文化財、児童文化施設などの重要性について理解する。 ・社会の変化に伴い、子どもの遊びの環境が変化する中での児童文化の役割について考える。		始業式
5	子どもと遊び	遊びと発達 遊びの現状 遊びと遊具・玩具 遊びと伝承		6	・子どもの遊びの重要性及び遊びの種類と発達のかかわりについて理解する。また、伝承遊びについて知るとともに、遊びと遊具のかかわり、遊具の遊び方や与え方などを学ぶ。		中間考査
6	子どもと表現活動	子どもの表現活動のおもしろさ 造る・描く		8	・子どもの表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性について学ぶ。 ・児童文化財の製作を行い、積極的に子どもとかかわることのできる能力と態度を養わせる。		期末考査
7		言語表現活動		6	・グループごとにペープサートの製作と発表を行い、製作のための留意点や演じ方について考える。		期末考査
8				2			終業式 始業式
9	子どもと文学	歌う、踊る、演奏する 語り 紙芝居 絵本		4 4	・紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせを行い、子どもの興味・関心に合った選択の必要性を理解する。		
10				8	・絵本の意義と特徴について学び、絵本の製作に取り組む。		中間考査 学校祭
11		児童文学		8	・児童文化やアニメーションの歴史やジャンル、代表作について学び、鑑賞し理解を深める。		期末考査
12	現代の子どもの生活と文化	テレビ、キャラクター、ゲーム 子どもと年中行事		6	・テレビ、コンピュータ、インターネットなどの情報手段を活用した活動の意義を理解し、長所と短所について及びそれらの適切な活用方法を考える。 ・年中行事、通過儀礼の背景や込められ願いなどを学び、伝統を継承していくことの意義を理解する。		終業式
1	子ども文化を支える場	行政による公的な支え方 民間企業による支え方 子どものための各種施設		6	・代表的な施設について、その種類や目的、相違点を理解し、有効な活用方法について考える。		始業式
2				8			卒業考査
3							卒業式

教科名	情報	科目名	課題研究	単位数	3
対象学年	第3学年 普通科総合選択コース 情報関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	プログラミングに関する知識と技術を習得させ、コンピュータの効果的な運用方法について理解させる。また、ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する態度を育てる。特に、近年急速に普及してきている動画編集の習得をさせる。				
学習内容の概要	ビジネスを実践するための基礎・基本の能力や、スペシャリストを目指すための基礎・基本となる能力を育成する。				
学習方法	プログラミングを通して論理的に問題解決するための知識と技法を習得させたのち、コンピュータを使用して実習課題を行い理解をさらに深めていく。				
評価の観点・ 評価方法	Linux C 言語にて、創作・意欲・態度を総合的に評価する。本校の内規に定める平常点（20％）の部分と出席点（10％）、課題作品点（70％）とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	副教材、その他 各種プリント				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Linux Cにて ソース作成 コンパイル デバックでの確認 など	プログラミングの基礎基本操作	20	teratermにてログイン viコマンドの習得 printf,scanfなど基本関数学習	入学式
5					中間考査
6			20	四則演算などの学習	
7		アルゴリズムの基礎・応用		アルゴリズムの学習	期末考査
8		アルゴリズムC 基本プログラミング		if,switchなど基本分岐関数学習	終業式
9			20		始業式
10		アルゴリズムC 応用プログラミング	20	応用プログラミング 実際の事象から課題の設定	全商情報処理検定 中間考査
11			10		
12		作品制作	10	オリジナルのプログラム作成	期末考査
1		作品発表		コンペ等を想定したプレゼン発表	終業式 始業式
2			8		卒業考査
3					卒業式 終業式

教科名	情報	科目名	情報テクノロジー	単位数	2
対象学年	第3学年 普通科 総合選択コース(情報)	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。				
学習内容の概要	内容を大別すると4つの分野からなる。1)情報を活用するための工夫と情報機器。2)情報の収集・発信と情報機器。3)情報の統合的な処理とコンピュータの活用。4)情報機器の発達と生活の変化。について実習を中心に習得する。				
学習方法	コンピュータ室での実習が中心になる。そのため昼休憩や放課後にも生徒が自由にコンピュータを操作できる環境を整備し提供する。ただし「情報テクノロジー」がそのまま「コンピュータ」ではなく、情報の活用におけるコンピュータの利用を意識させる。				
評価の観点・評価方法	各学期に1回(期末)または2回(中間・期末)の筆記試験をおこなう。本校の内規に定める平常点(20%)の部分を実習点(20%～30%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	実教出版「情報テクノロジー」・東京法令出版「ハスポート 2級Excel」 副教材、その他 各種プリント				
その他	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定2級合格を視野に入れながら展開する。				

年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション コンピュータの関連知識 表計算の活用 応用知識	1年間を通した成績評価・授業内容の説明 ソフトウェアなどに関する知識	1 14	コンピュータの装置と機能等	入学式 新入生オリエンテーション
5		情報通信ネットワーク		情報モラルとセキュリティに関する知識	
6		表計算ソフトウェアの活用		関数の利用と関数のネスト	中間考査
6		データベースソフトウェアの活用		リレーショナル型データベース	
7		順位付けと複合条件	48	順位付けとフィルタ	
7		検索の関数		列、行方向の検索	期末考査
8		文字列と数値		文字列の抽出、変換、結合 指定した文字の文字位置	終業式
8		日時・曜日の関数		棒グラフ等の作成	
9		グループ集計とクロス集計		最大・最小・件数の関数 判定・端数処理の関数	始業式 検定①
10		グラフの作成		相対番地と絶対番地(\$記号) 順位付けと並べ替え、文字列の抽出 文字列⇄数値 変換、文字列の長さ 日時の関数、関数のネスト	中間考査
11	実技・用語の確認	実技・用語の確認	12	検定過去問、演習問題を中心に取り組む	
12					期末考査
1					終業式
1					始業式 検定② 卒業考査
2					学年末考査
3					卒業式
					終業式

教科名	情報	科目名	情報メディア	単位数	2
対象学年	第3学年 普通科総合選択コース 情報関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する態度を育てる。 表現の基礎能力を育てる。(プレゼンテーション・動画編集)				
学習内容の概要	ビジネスを実践するための基礎能力や、スペシャリストを目指すための基本となる能力を育成する。				
学習方法	実習課題を行い理解をさらに深めていく。そのため放課後にも自由にコンピュータを使用できる環境を整備し提供する。 PowerPointを使い、画面構成等の基本を理解し、コンピュータの有効利用を学ぶ。 PowerDirectorを使い、静止画、動画の加工・編集を通しコンピュータの有効利用を学ぶ。				
評価の観点・ 評価方法	作品制作と各自2回以上の発表を行う。実習課題は、本校の内規に定める筆記試験点(70%)の部分を実習点(70%～80%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	教科書: 情報メディア(実教出版) 副教材、各種プリント				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	PowerPoint	メディアの基礎 情報メディアの特性と活用	8	メディアの定義と機能 情報メディアの種類と特性	入学式
5		PowerPointの基本操作	8	プレゼンテーションとは プレゼンテーションのテクニック	中間考査
6			8	課題に従って作成 プレゼンテーションの実施と反省 基本操作の学習	
7		情報メディアの特性と活用	8	シナリオの作成 情報メディアの種類と特性 REPORT制作現場	期末考査
8	PowerDirector				終業式
		・トランジション・エフェクト ・タイトル・トリミング ・BGM	2		始業式
9			8	作品①のシナリオ・動画作成	
					全商情報処理検定
10		動画作成(30秒) 作成・発表	8	作品①発表。 進行や表現の工夫。	中間考査
11		動画作成(30秒) 作成・発表	8	作品①の改善点を踏まえ、 作品②の発表。また、進行・ 表現の再確認。	
12		動画作成(60秒) 作品提出	6	過去の改善点を踏まえ、作 品③の作成。	期末考査
1			4		終業式
					始業式
2			4		卒業考査
3					卒業式
					終業式

教科名	情報	科目名	情報デザイン	単位数	4
対象学年 学科・コース	第3学年 総合選択コース・情報	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
学習の到達目標	現在社会に広く流通するデジタル画像作成ツールPhotoshopを習得し、デジタル画像の活用について理解する。				
学習内容の概要	アプリケーションの特徴を理解しながら、基本操作・応用操作ができるように学習と実習を重ねる。				
使用教材	実教出版『コンピュータデザイン Photoshop&Illustrator』				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習の到達目標	
4	デジタル画像やインターネットとは何か Photoshopの基礎	・社会におけるデジタル画像の存在について学ぶ ・ Photoshopの基本操作 ・ ドキュメントウィンドウ ・ ペイントツール ・ 選択範囲 ・ 画像の補正	8	Photoshopの基本操作を習得する。デジタル画像や画像編集の基本的な方法について理解する。	
5			12		
6			12		
7			10		
8	Photoshopの応用	・ 色調補正 ・ 画像の合成 ・ フィルタ ・ ロゴの作成	10	Photoshopの応用操作を習得する。	
9			12		
10			8		
11	デジタル画像とインターネット	WEBサイトでデジタル画像を表示させる方法やその詳細	8	ネット上の画像データについて理解する	
12	作品制作	自作したデジタル画像を用いWEBサイトを制作すう。	30	複数のアプリ間で使えるデジタルデータの作成方法を習得し、それを実際にブラウザで表示する。	
1					
2					
3					

教科名	情報	科目名	表現メディアの編集と表現	単位数	2
対象学年	第3学年 総合選択コース 情報関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	音楽の基礎知識及び音楽作成ソフトに関する知識と技術を習得させ、コンピュータによる音楽の構造を理解させる。デジタル音楽とアナログ音楽を組み合わせによる音楽の可能性・メリットなどを考えさせる。また、学習を通じ音楽のすばらしさを体感させる。				
学習内容の概要	音楽の知識と音楽作成ソフトの技術を習得する。				
学習方法	音楽の基礎知識を理解させ、音楽作成ソフト(GarageBand)を使用して実習課題を作成させる。 音楽作成ソフト(ボーカロイド)による単旋律による課題を作成させる。				
評価の観点・ 評価方法	授業内に、小テスト、簡単な演奏テストを実施する。 授業ごとに課題を課し、意欲、態度を総合的に評価する。 さらに各グループに分かれ、グループごとによる発表を行う。				
使用教材	音楽作成ソフト(GarageBand・ボーカロイド) 上記に関するテキスト				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	音楽の基礎知識Ⅰ	音部記号を理解し、簡単な音階を歌わせる。	26	テキストによる学習	入学式
5	音楽の基礎知識Ⅱ	音符・休符の種類と長さを学習する。		小テストを実施	中間考査
6	音楽の基礎知識Ⅲ	拍子記号の意味を理解する。		小テストを実施	
7	音楽作成ソフト	楽譜の基本的な記譜法を学んだ上で、音楽作成ソフトに楽譜を入力させる。		GarageBandを使用	期末考査 終業式
8	コード	コードによる響きの違い理解させ、音楽作成ソフトにコードを入力する。		GarageBandを使用	始業式
9	複数の音楽作成ソフトの組み合わせ	ボーカロイドによる単旋律、GarageBandによる伴奏を組み合わせ楽曲を完成させる。	32	GarageBand・ボーカロイドを使用	全商情報処理検定 中間考査
10	課題曲の入力	ボーカロイドによる単旋律、GarageBandによる伴奏を組み合わせ楽曲を完成させる。			
11					
12	グループ発表	各グループで発表し、各グループごとの音楽の違いなどを理解させる。			期末考査 終業式
1	グループ発表	各グループで発表し、各グループごとの音楽の違いなどを理解させる。	14		始業式 全商情報処理検定 卒業考査
2	まとめ	考査で音楽作成ソフトの組み合わせを行う。			学年末考査
3		これまでに学習したまとめを行い、音楽作成ソフトの音楽の構造を理解させる。			卒業式 終業式

教科名	美術	科目名	情報メディア デザイン	単位数	4
対象学年 学科・コース	第3学年 総合選択コース・アート	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
学習の到達目標	紙面デザインに重要な役割を果たすアプリケーションIllustratorを習得し、新聞・雑誌・漫画コミックなどメディアにあったデザイン制作を行う。				
学習内容の概要	アプリケーションの特徴を理解しながら、基本操作・応用操作ができるように学習と実習を重ねる。				
使用教材	実教出版『コンピュータデザイン Photoshop&Illustrator』				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習の到達目標	
4	PCの基礎知識 Illutoratorの基本操作	・PCの基礎知識	8	PCの基礎知識を学び、使用方法を習得する。 Illustoratorの基本操作を習得する。	
		・Illustoratorの基本操作	12		
		・基本図形の描画とパスの作成	12		
5		・オブジェクトの塗りと線	10		
		・オブジェクトの編集	10		
		・オブジェクトの装飾	10		
6					
7					
8	Illustoratorの応用	・イラストの作成	12	Illustoratorの応用操作を習得する。	
		・文字の作成	12		
		・ロゴの作成	12		
9		・地図の作成	8		
10					
11	情報メディアデザインの 特徴と違い	・メディアにより変わるデザイン の特徴を理解し考察する。	8	メディア別のデザインを考えられる。	
12	作品制作	・メディア即したデザインを考 え、作品を制作する。	30	独自のデザインをコンピューターで作る。	
1					
2					
3					

教科名	美術	科目名	アートⅡ	単位数	3
対象学年 学科・コース	3 学年普通科 総合選択アート群	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
学習の到達目標					
知識及び技能		思考力、判断力、表現力		学びに向かう力	
芸術全般の基礎知識・技能の習得		実習を通し、思考力・判断力・表現力の習得		知識を身に着け、考え、実行	
学習内容の概要	デザインを中心に実用的なアートの技術を学びます。 基礎的技術をもとに実習・制作を行います。				
評価の観点・ 評価方法	1. 【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 定期考査と小テスト 2. 【主体的に学習に取り組む態度】 パフォーマンステストと授業中の取り組み				
使用教材	実教出版「商業技術」・アイシー「ART KIT」マンガ・イラストの描き方 日本色研「カラー＆ライフ」・日本色研「色彩」				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習の到達目標	
4	デザインの実習	実用的なアートを分野別にデザインする	9	ラフスケッチを制作する	
5	色彩の応用	色彩見本の作製 造形学習	13	表現する喜び 色彩の大切さ 見本の作成	
6	漫画・ポスター・シルバー アクセサリー選択	制作計画の作成	11	計画案の発表・計画案の見直し	
7	小品の作成	複数の小品作成	7	複数の小品作成により、 完成作品の問題点を探り、改善する	
8	小品見本発表	視覚学習	7	各自、見本発表	
9	作品の見直し	作品の見直し	11	作品の最終決定	
10	作品制作	漫画作品制作 ポスター シルバーアクセサリー選択	13	作品制作	
11	作品制作	漫画作品制作	9	作品制作	
12	作品制作	漫画作品制作	9	作品制作	
1	作品完成・発表 レポート提出	漫画作品完成・発表 レポート提出	9	作品完成 発表（米子市美術館） レポート提出	
2	レポート提出	レポート提出	11	レポート提出	
3					

教科名	美術	科目名	マンガ・イラスト	単位数	3単位
対象学年 学科・コース	3 学年普通科 総合選択アート群	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
学習の到達目標					
知識及び技能		思考力、判断力、表現力		学びに向かう力	
芸術全般の基礎知識・技能の習得		実習を通し、思考力・判断力・表現力の習得		知識を身に着け、考え、実行	
学習内容の概要	マンガ・イラストの基礎知識を実習を通して学びます。				
評価の観点・ 評価方法	1. 【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 定期考査と小テスト 2. 【主体的に学習に取り組む態度】 パフォーマンステストと授業中の取り組み				
使用教材	アイシー「漫画・イラストの描き方入門」				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習の到達目標	
4	マンガの基本	マンガの模写 ストーリーの作り方	12	漫画の道具がどのようなものがあるか学ぶ。 どんな漫画を描きたいか（プロット）を考える。	
5	マンガの基本	マンガの模写 ストーリーの作り方	9	漫画を描く工程を実際に体験すること（漫画原稿の模写） で、道具の使い方や描き方を学ぶ。プロットを元に漫画の下書きの下書き（ネーム）を描く。	
6	マンガ・イラストの実習	マンガの模写 マンガの下書き	15	漫画を描く工程の復習をする。1 頁のオリジナル漫画を完成させる。既存の漫画を鉛筆で模写し、コマワリ、セリフ回しについて学ぶ。ネームを直す。	
7	マンガ・イラストの実習	短編漫画の作成 マンガの下書き	9	お題に沿ったオリジナル漫画を 1 頁以上のものを作成し完成させる。投稿作品の下書きを半分、1 頁はペン入れまで終わらせる。	
8	マンガ・イラストの実習	マンガの下書き マンガのペン入れ	6	投稿作品の下書きを完成させる。 ペン入れを始める。	
9	マンガ・イラストの実習	マンガのペン入れ	15	投稿作品の人物ペン入れを終わらせる。	
10	マンガ・イラストの実習	効果や背景	12	投稿作品のベタ（黒塗り）背景を描く。	
11	マンガ・イラストの実習	マンガの完成	9	投稿作品の効果、修正を行う。	
12	マンガ・イラストの実習	短編漫画の作成	9	漫画の投稿を行う。 短編漫画の作成をする。	
1	発表	発表	9	全体の講評をする。	
2	発表	発表	6	自作品の振り返りを行う。	
3					